

都001	項目名	中国横断自動車道姫路鳥取線(佐用～鳥取)負担金		
主要な施策	各種期成同盟会費	ページ	37	所 属 名
年度	H24	都市整備部 都市企画課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】事業調整係 0857-20-3253 【9次総の施策体系】4201			
款	土木費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P205(都012)		
項	土木管理費	【事業の概要】 中国横断自動車道姫路鳥取線(佐用～鳥取間)の早期建設を目的として、平成6年に沿線自治体とともに中国横断自動車道姫路鳥取線(佐用～鳥取間)建設促進期成同盟会を組織した。 鳥取自動車道の早期整備に関する関連事業を推進するため、当期会に対して毎年度負担金を拠出するもの。		
目	土木総務費	【事業の成果】 中国横断自動車道姫路鳥取線(佐用～鳥取間)の建設と沿線及び関係市町村の地域開発を促進について関係機関へ陳情要望等を行う。 【平成24年度】 4月27日 幹事会の開催(あわくら会館) 5月25日 総会の開催(ホープスターとっとり) ①平成23年度事業報告及び歳入歳出決算 ②役員改選 ③平成24年度事業計画及び歳入歳出予算(案) ④要望活動(案) 7月11日 要望活動(鳥取河川国道事務所等) 7月30日 要望活動(中国地方整備局) 10月10日 幹事会の開催(あわくら会館) 10月31日 要望活動(国土交通省、財務省、議員会館) 12月19日 幹事会の開催(あわくら会館)		
(単位:千円)	当初予算額	1,865	【今後の課題・方向性】 ※平成22年3月 鳥取自動車道県内区間開通 ※平成25年3月 鳥取自動車道全線開通	
	補正予算額	0		
	予算流・充用額	0		
	最終予算額	1,865	【参考】	
	本年度決算額	1,865	評価結果	
区分	決算額	平成25年3月23日に佐用～鳥取間が全線開通し、建設促進期成同盟会としての活動は一区切りとなったが、今後も適正な維持管理や4車線化に向けた要望活動は継続する必要がある。また沿線の地域振興等についても関係自治体や国土交通省との連携強化が望まれる。今後は観光分野を含めた後継組織として「鳥取道整備沿線振興協議会」を立ち上げ、要望活動や沿線振興に取り組む。		
財源内訳	国・県支出金	0	評価結果	
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	1,865		
	計	1,865		
前年度決算額	385			

都002	項目名	鳥取自動車道全線開通PR事業費		
主要な施策	鳥取自動車道建設関係事業費	ページ	38	所 属 名
年度	H24	都市整備部 都市企画課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】事業調整係 0857-20-3253			
款	土木費	【9次総の施策体系】4201		
項	土木管理費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 12月補正・P26(都002)		
目	土木総務費	【事業の概要】 鳥取自動車道は平成25年3月23日に全線開通となり、無料の高速道路という特性を活かした地域活性化と交流人口の拡大が期待されている。平成24年度の開通区間は、大原IC～西粟倉IC間(L=8.3km)のため、岡山県側で国土交通省が主体となった開通記念事業を実施。しかしながら、関西圏・山陽圏への開通PRは十分とは言えない状況であるため、沿線自治体の中で全線開通による波及効果が最も大きい本市が主体とり、国・県等関係機関と連携しながら、全線開通という唯一の機会を好機と捉え、改めて県内外への幅広いPRを実施しようとするものである。		
(単位:千円)	当初予算額	0	【事業の成果】 平成25年3月に国土交通省・鳥取県等関係機関と連携しながら、鳥取自動車道全線開通記念事業を実施し、県内外に全線開通のPRを行った。具体的には、無料の高速道路である鳥取自動車道の特性を活かした経済活性化や地域振興について、シンポジウムを開催するとともに、沿線自治体の特産品や観光地を題材としたスタンプラリー事業(鳥取・岡山・兵庫の8市町村)や関西圏へのPRキャラバン事業等を実施した。	
	補正予算額	3,111	【今後の課題・方向性】 鳥取自動車道全線開通について、継続して関西・山陽圏へのPRを強化するとともに、鳥取道から市内観光スポット等へ誘導する案内サイン等の充実を図る。 また、「鳥取道整備・沿線振興協議会」の活動を通じて沿線市町村連携によるPR事業を展開することで、沿線地域の周遊促進による圏域の経済活性化を図る。 更に、圏域の高速道路ネットワークの充実のため、山陰道・山陰近畿自動車道の早期整備を促進する。	
	予算流・充用額	0		
	最終予算額	3,111	【参考】	
	本年度決算額	2,678	評価結果	
区分	決算額	平成25年度に立ち上げる「鳥取道整備・沿線振興協議会」の場等で、引き続き沿線自治体をはじめ、国・県とともに、沿線振興と鳥取自動車道のPRの取組みを進めていく。		
財源内訳	国・県支出金	0	評価結果	
	地方債	0		
	その他	1,381		
	一般財源	1,297		
	計	2,678		
前年度決算額	0			

都003	項目名	道路新設改良県営事業負担金	
主要な施策	県営事業負担金	ページ	38
年度	H24	所 属 名	
		都市整備部 都市企画課	
事業の概要	<p>【問合せ先】事業調整係 0857-20-3253</p> <p>【9次総の施策体系】4201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P206（都013）</p> <p>【事業の概要】 便利で快適な交通基盤の整備を行うため、県が実施する市域の県道整備事業に要する経費の一部を負担することにより、幹線道路の整備を促進し、市内各地や高速道路とのアクセス向上を図る。なお、道路新設改良県営事業に要する市町村負担額は鳥取県が定めている。</p> <p>【事業の成果】 主要地方道鳥取河原用瀬線ほか4路線</p> <p>平成24年度 2,404千円 平成23年度 5,213千円 平成22年度 2,418千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 県営事業の着実な事業促進を図るとともに、市町村負担金の廃止・縮小について県と継続して協議を行う。</p>		
会計名	一般会計		
款	土木費		
項	道路橋梁費		
目	道路新設改良費		
(単位:千円)			
当初予算額	11,875		
補正予算額	△1,577		
予算流・充用額	0		
最終予算額	10,298		
本年度決算額	2,404		
区分	決算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	2,083	
	その他	0	
	一般財源	321	
	計	2,404	
参考	評価結果	県事業の負担金のあり方について関係機関と協議を行う。	
前年度決算額	5,213		

都004	項目名	急傾斜地崩壊対策県営事業負担金	
主要な施策	急傾斜地崩壊対策県営事業負担金	ページ	38
年度	H24	所 属 名	
		都市整備部 都市企画課	
事業の概要	<p>【問合せ先】事業調整係 0857-20-3253</p> <p>【9次総の施策体系】4201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P206（都014）</p> <p>【事業の概要】 災害に強いまちづくりを進めるため、県が実施する急傾斜地崩壊対策事業に要する経費の一部を市が負担することにより、急傾斜地崩壊対策事業の促進を図り、災害強いまちづくりを推進する。なお、急傾斜地崩壊対策事業に要する市町村負担額は鳥取県が定めている。</p> <p>【事業の成果】 鳥取市青谷町田原谷ほか18か所</p> <p>平成24年度 36,715千円 平成23年度 30,929千円 平成22年度 39,905千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 県営事業の着実な事業促進を図るとともに、市町村負担金の廃止・縮小について県と継続して協議を行う。</p>		
会計名	一般会計		
款	土木費		
項	河川費		
目	河川総務費		
(単位:千円)			
当初予算額	52,693		
補正予算額	5,933		
予算流・充用額	0		
最終予算額	58,626		
本年度決算額	36,715		
区分	決算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	34,995	
	その他	0	
	一般財源	1,720	
	計	36,715	
参考	評価結果	県事業の負担金のあり方について関係機関と協議を行う。	
前年度決算額	30,929		

都005	項目名	港湾改修県営事業負担金	
主要な施策	県営事業負担金	ページ	39
年度	H24	所 属 名 都市整備部 都市企画課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】事業調整係 0857-20-3253		
款 土木費	【9次総の施策体系】4201		
項 港湾費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P207(都015)		
目 港湾総務費	【事業の概要】 物流の国際化を図るため、県が実施する港湾改修事業に要する経費の一部を市が負担することにより、重要港湾鳥取港の整備を促進し、物流事業や水産業の振興を図る。なお、港湾改修県営事業に要する市町村負担金は鳥取県が定めている。		
(単位:千円)	【事業の成果】 鳥取港第2防波堤改良 鳥取港第3防波堤撤去		
当初予算額	23,025	平成24年度 7,122千円 平成23年度 5,249千円 平成22年度 3,823千円	
補正予算額	△9,225	【今後の課題・方向性】 県営事業の着実な事業促進を図るとともに、市町村負担金の廃止・縮小について県と継続して協議を行う。	
予算流・充用額	0		
最終予算額	13,800	その他の財源の内訳	
本年度決算額	7,122	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収金	0
		その他	0
区分	決算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	6,410	
	その他	0	
	一般財源	712	
	計	7,122	
(参考)	前年度決算額	5,249	評価結果 県営事業の負担金のあり方について関係機関と協議を行う。

都006	項目名	都市計画策定費	
主要な施策	都市計画策定費	ページ	39
年度	H24	所 属 名 都市整備部 都市企画課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】都市計画係 0857-20-3272		
款 土木費	【9次総の施策体系】4201		
項 都市計画費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P208(都017)		
目 都市計画総務費	【事業の概要】 都市計画の区域区分(市街化区域、市街化調整区域)や用途地域(商業地域や工業専用地域など)の見直しは、概ね5年ごとに行なう都市計画の基礎調査などに基づき行なっている。 基礎調査は、平成20年度に行なわれており、都市全体の都市機能の配置及び密度構成に配慮しながら新たな市街地像に対応した区域区分や用途地域に変更することで健全な都市構造や良好な市街地の形成を図る。		
(単位:千円)	【事業の成果】 本年度、鳥取市の区域区分の見直しに必要な農政局との協議資料として、土地有効利用促進検討業務の発注を行った。		
当初予算額	6,673	【今後の課題・方向性】 平成24年末に予定していた農政局協議が、鳥取県の策定する区域マスタープラン見直し工程の延期により平成25年度以降に持ち越しとなった。今後、早急に区域区分の見直しが行えるよう、鳥取県と協議・調整を行う。	
補正予算額	△3,052		
予算流・充用額	0		
最終予算額	3,621	その他の財源の内訳	
本年度決算額	3,610	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収金	41
		その他	0
区分	決算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	41	
	一般財源	3,569	
	計	3,610	
(参考)	前年度決算額	972	評価結果 土地利用の現状と課題、今後の土地利用動向などを的確に把握し、適正な区域区分や用途地域の見直しを行う。

都007	項目名	都市再生整備策定費		
主要な施策	都市計画策定費	ページ	39	所 属 名
年度	H24	都市整備部 都市企画課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】都市計画係 0857-20-3272			
款 土木費	【9次総の施策体系】4201			
項 都市計画費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 9月補正予算・P41（都008）			
目 都市計画総務費	【事業の概要】 鳥取市都市計画マスタープランの理念である多極型のコンパクトな都市構造を実現していくためには、郊外化の抑制と併せて、地域生活拠点の再生が重要であり、地域の特性に応じたインフラ等環境整備が必要である。			
(単位:千円)	【事業の成果】 平成24年度は、青谷地区地域生活拠点再生整備検討委員会（予定5回）を2回実施した。			
当初予算額	0	【今後の課題・方向性】 第9次鳥取市総合計画のリーディングプロジェクトに中山間地域の暮らしを支えるプロジェクトとして「日常生活を支える地域生活拠点の再生」が位置づけられており、平成25年度も引き続き青谷地区生活拠点再生整備検討委員会を実施し、都市再生整備計画策定を行う。また、順次、他の地区の再生整備計画の策定も着手していく予定である。		
補正予算額	2,980	【事業の成果】 平成24年度は、青谷地区地域生活拠点再生整備検討委員会（予定5回）を2回実施した。		
予算流・充用額	0	【今後の課題・方向性】 第9次鳥取市総合計画のリーディングプロジェクトに中山間地域の暮らしを支えるプロジェクトとして「日常生活を支える地域生活拠点の再生」が位置づけられており、平成25年度も引き続き青谷地区生活拠点再生整備検討委員会を実施し、都市再生整備計画策定を行う。また、順次、他の地区の再生整備計画の策定も着手していく予定である。		
最終予算額	2,980	【今後の課題・方向性】 第9次鳥取市総合計画のリーディングプロジェクトに中山間地域の暮らしを支えるプロジェクトとして「日常生活を支える地域生活拠点の再生」が位置づけられており、平成25年度も引き続き青谷地区生活拠点再生整備検討委員会を実施し、都市再生整備計画策定を行う。また、順次、他の地区の再生整備計画の策定も着手していく予定である。		
本年度決算額	51	【今後の課題・方向性】 第9次鳥取市総合計画のリーディングプロジェクトに中山間地域の暮らしを支えるプロジェクトとして「日常生活を支える地域生活拠点の再生」が位置づけられており、平成25年度も引き続き青谷地区生活拠点再生整備検討委員会を実施し、都市再生整備計画策定を行う。また、順次、他の地区の再生整備計画の策定も着手していく予定である。		
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 第9次鳥取市総合計画のリーディングプロジェクトに中山間地域の暮らしを支えるプロジェクトとして「日常生活を支える地域生活拠点の再生」が位置づけられており、平成25年度も引き続き青谷地区生活拠点再生整備検討委員会を実施し、都市再生整備計画策定を行う。また、順次、他の地区の再生整備計画の策定も着手していく予定である。		
財源内訳	国・県支出金	0	【今後の課題・方向性】 第9次鳥取市総合計画のリーディングプロジェクトに中山間地域の暮らしを支えるプロジェクトとして「日常生活を支える地域生活拠点の再生」が位置づけられており、平成25年度も引き続き青谷地区生活拠点再生整備検討委員会を実施し、都市再生整備計画策定を行う。また、順次、他の地区の再生整備計画の策定も着手していく予定である。	
	地方債	51	【今後の課題・方向性】 第9次鳥取市総合計画のリーディングプロジェクトに中山間地域の暮らしを支えるプロジェクトとして「日常生活を支える地域生活拠点の再生」が位置づけられており、平成25年度も引き続き青谷地区生活拠点再生整備検討委員会を実施し、都市再生整備計画策定を行う。また、順次、他の地区の再生整備計画の策定も着手していく予定である。	
	その他	0	【今後の課題・方向性】 第9次鳥取市総合計画のリーディングプロジェクトに中山間地域の暮らしを支えるプロジェクトとして「日常生活を支える地域生活拠点の再生」が位置づけられており、平成25年度も引き続き青谷地区生活拠点再生整備検討委員会を実施し、都市再生整備計画策定を行う。また、順次、他の地区の再生整備計画の策定も着手していく予定である。	
	一般財源	0	【今後の課題・方向性】 第9次鳥取市総合計画のリーディングプロジェクトに中山間地域の暮らしを支えるプロジェクトとして「日常生活を支える地域生活拠点の再生」が位置づけられており、平成25年度も引き続き青谷地区生活拠点再生整備検討委員会を実施し、都市再生整備計画策定を行う。また、順次、他の地区の再生整備計画の策定も着手していく予定である。	
	計	51	【今後の課題・方向性】 第9次鳥取市総合計画のリーディングプロジェクトに中山間地域の暮らしを支えるプロジェクトとして「日常生活を支える地域生活拠点の再生」が位置づけられており、平成25年度も引き続き青谷地区生活拠点再生整備検討委員会を実施し、都市再生整備計画策定を行う。また、順次、他の地区の再生整備計画の策定も着手していく予定である。	
(参考)	前年度決算額	0	【今後の課題・方向性】 第9次鳥取市総合計画のリーディングプロジェクトに中山間地域の暮らしを支えるプロジェクトとして「日常生活を支える地域生活拠点の再生」が位置づけられており、平成25年度も引き続き青谷地区生活拠点再生整備検討委員会を実施し、都市再生整備計画策定を行う。また、順次、他の地区の再生整備計画の策定も着手していく予定である。	
	評価結果	多極型コンパクトシティ実現のためにも地域生活拠点の再生は最重要事項であり、各地域で積極的な事業展開を図っていく。		

都008	項目名	景観形成推進費																	
主要な施策	景観形成策定費	ページ	39	所 属 名															
年度	H24	都市整備部 都市企画課																	
会計名	事業の概要																		
一般会計	【問合せ先】景観形成係 0857-20-3271																		
款 土木費	【9次総の施策体系】4201																		
項 都市計画費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 6月補正予算・P22（都003）																		
目 都市計画総務費	【事業の概要】 平成25年度に全国都市緑化とっとりフェアが開催されるが、全国から多くの来場者が予想されるものの、市内の主要路線の街路樹等の手入れが十分ではなく、開催都市として全国都市緑化とっとりフェアを意識した適切な景観形成が望まれている。																		
(単位:千円)	このため、市内で特に重点的に街路樹を管理すべき路線について、「鳥取県公共施設緑化マニュアル」の基準に基づいた剪定・除草を行い、景観の向上とフェア開催の機運醸成を図る。また、フェアの数ヶ月前に剪定を行うのではなく、平成24年度の適切な時期に剪定を行うことで、フェアの開催時には街路樹が整い、美しい景観で来場者をお迎えすることができる。																		
当初予算額	0	【事業の成果】 下記の街路樹管理レベルを上げる路線については、景観の向上とフェア開催の機運醸成を図ることができた。																	
補正予算額	2,900	<table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th colspan="2">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 賀露幹線</td> <td>中低木剪定、除草</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>② 山の手通り</td> <td>中低木剪定、除草</td> <td>高木1回 低木1回</td> </tr> <tr> <td>③ 川外通り</td> <td>高木・中低木剪定</td> <td>高木1回 低木1回</td> </tr> <tr> <td>④ 扇町線</td> <td>高木剪定(ケヤキ)</td> <td>1回</td> </tr> </tbody> </table>			路線名	内容		① 賀露幹線	中低木剪定、除草	1回	② 山の手通り	中低木剪定、除草	高木1回 低木1回	③ 川外通り	高木・中低木剪定	高木1回 低木1回	④ 扇町線	高木剪定(ケヤキ)	1回
路線名	内容																		
① 賀露幹線	中低木剪定、除草	1回																	
② 山の手通り	中低木剪定、除草	高木1回 低木1回																	
③ 川外通り	高木・中低木剪定	高木1回 低木1回																	
④ 扇町線	高木剪定(ケヤキ)	1回																	
予算流・充用額	0	【今後の課題・方向性】 市内で特に重点的に街路樹を管理すべき路線については、全国都市緑化とっとりフェアが開催される平成25年度も重点的な街路樹管理をする。																	
最終予算額	2,900	【今後の課題・方向性】 市内で特に重点的に街路樹を管理すべき路線については、全国都市緑化とっとりフェアが開催される平成25年度も重点的な街路樹管理をする。																	
本年度決算額	2,810	【今後の課題・方向性】 市内で特に重点的に街路樹を管理すべき路線については、全国都市緑化とっとりフェアが開催される平成25年度も重点的な街路樹管理をする。																	
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 市内で特に重点的に街路樹を管理すべき路線については、全国都市緑化とっとりフェアが開催される平成25年度も重点的な街路樹管理をする。																	
財源内訳	国・県支出金	0	【今後の課題・方向性】 市内で特に重点的に街路樹を管理すべき路線については、全国都市緑化とっとりフェアが開催される平成25年度も重点的な街路樹管理をする。																
	地方債	0	【今後の課題・方向性】 市内で特に重点的に街路樹を管理すべき路線については、全国都市緑化とっとりフェアが開催される平成25年度も重点的な街路樹管理をする。																
	その他	0	【今後の課題・方向性】 市内で特に重点的に街路樹を管理すべき路線については、全国都市緑化とっとりフェアが開催される平成25年度も重点的な街路樹管理をする。																
	一般財源	2,810	【今後の課題・方向性】 市内で特に重点的に街路樹を管理すべき路線については、全国都市緑化とっとりフェアが開催される平成25年度も重点的な街路樹管理をする。																
	計	2,810	【今後の課題・方向性】 市内で特に重点的に街路樹を管理すべき路線については、全国都市緑化とっとりフェアが開催される平成25年度も重点的な街路樹管理をする。																
(参考)	前年度決算額	0	【今後の課題・方向性】 市内で特に重点的に街路樹を管理すべき路線については、全国都市緑化とっとりフェアが開催される平成25年度も重点的な街路樹管理をする。																
	評価結果	全国都市緑化とっとりフェア開催前の主な幹線市道の街路樹整備は良好な景観形成を図ることが出来た。																	

都009	項目名	街なみ環境助成費	
主要な施策	街なみ環境整備事業費	ページ	39
年度	H24	所 属 名 都市整備部 都市企画課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 景観形成係 0857-20-3271		
款 土木費	【9次総の施策体系】 4201		
項 都市計画費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P208（都018）		
目 都市計画総務費	【事業の概要】 街なみ整備補助金 鹿野地域街なみ環境整備促進区域内で、鹿野らしさに配慮し、街なみ景観向上に寄与した住宅等の整備改善に補助金を交付する。上限1,000千円		
(単位:千円)	【事業の成果】 城下町の歴史的特性を活かした街なみ整備により、住民の定住化促進、観光振興による地域活性化並びに地域文化の継承を図ることができた。		
当初予算額	3,150	【今後の課題・方向性】 住民への制度説明を再度徹底し、事業の推進を図ることが必要である。	
補正予算額	△1,650		
予算流・充用額	0		
最終予算額	1,500	【参考】	
本年度決算額	1,328	評価結果	
区分	決算額	個人住宅の修景により、鹿野町の城下町らしい景観を向上させることが出来た。	
財源内訳			
国・県支出金	664		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	664		
計	1,328		
前年度決算額	0		

都010	項目名	公共サイン整備事業費	
主要な施策	公共サイン整備事業費	ページ	39
年度	H24	所 属 名 都市整備部 都市企画課	
会計名	事業の概要		
一般会計	問合せ先】 景観形成係 0857-20-3271		
款 土木費	【9次総の施策体系】 4201		
項 都市計画費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 9月補正予算・P42（都010）		
目 都市計画総務費	【事業の概要】 「都市再生整備計画（文化交流拠点地区）」及び「鳥取城跡観光推進計画（案）」に基づき、文化交流拠点地内の市営片原駐車を、来訪者が車両から降りて歩行観光を行う行動起点とし、また、鳥取城跡を観光案内の案内起点として位置付け、この2核を結ぶ若桜街道と智頭街道を軸とする周辺を含む文化交流拠点地内において、案内サイン、誘導サインを設置する。 設置箇所数 6か所		
(単位:千円)	【事業の成果】 鳥取市では、歩行者を案内・誘導するための公共サインについてのガイドラインを平成22年度に策定した。このガイドラインに則った案内サイン、誘導サインを設置することで、鳥取市を訪れた人に、本市でのまち歩きの魅力を伝えるとともに、景観上、統一感のある案内が実現できた。		
当初予算額	0	【今後の課題・方向性】 鳥取市の玄関口である鳥取駅から市営片原駐車場までの間で、案内サイン、誘導サインの設置を検討。	
補正予算額	10,164		
予算流・充用額	0		
最終予算額	10,164	【参考】	
本年度決算額	9,614	評価結果	
区分	決算額	市営片原駐車場から鳥取城跡までの間については案内サイン等の適正設置を行ったので、今後は鳥取駅から市営片原駐車場までのサイン整備について検討していく。	
財源内訳			
国・県支出金	4,313		
地方債	5,000		
その他	0		
一般財源	301		
計	9,614		
前年度決算額	0		

都011	項目名	都市再生整備事業費(用瀬地区)		
主要な施策	都市再生整備事業費	ページ	39	所 属 名
年度	H24	都市整備部 都市企画課		
会計名	事業の概要			
一般会計	問合せ先】都市計画係 0857-20-3272			
款 土木費	【9次総の施策体系】4201			
項 都市計画費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P209(都019)、9月補正予算・P43(都011)			
目 都市計画総務費	【事業の概要】 地域生活拠点を再生していくため、平成21年度より、住民等との協働によるワークショップ形式での検討を踏まえ、平成22年度に「都市再生整備計画(用瀬地区)」を策定した。本計画では、人に優しい道路整備や景観形成、定住対策などに取組むこととしている。			
(単位:千円)	【事業の成果】 平成23年度に策定した「歩いて暮らせる環境づくり計画(案)」に基づき、地域内の主要市道にカラー舗装による歩行帯を設け、安全な歩行空間の確保を行った。			
当初予算額	72,000	【今後の課題・方向性】 国道53号沿いに整備された交通広場(バス乗継拠点)とJR用瀬駅とを結ぶ市道用瀬駅横断線の整備により、交通結節点機能の強化を図るとともに、地域の利便性、快適性の向上を推進させる。また、瀬戸川沿いに小型水車による水力発電を利用したLED照明灯を設置し、安全対策を行うとともに、風情ある歩道空間を創出する。		
補正予算額	△66,551	【参考】		
予算流・充用額	0	評価結果 多極型コンパクトシティの先導事業として着実に事業を推進する。		
最終予算額	5,449	評価結果		
本年度決算額	3,770	評価結果		
区分	決算額	評価結果		
財源内訳	国・県支出金	1,505	評価結果	
	地方債	2,200	評価結果	
	その他	0	評価結果	
	一般財源	65	評価結果	
	計	3,770	評価結果	
前年度決算額	468	評価結果		

都012	項目名	県営街路事業負担金		
主要な施策	県営事業負担金	ページ	39	所 属 名
年度	H24	都市整備部 都市企画課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】事業調整係 0857-20-3253			
款 土木費	【9次総の施策体系】4201			
項 都市計画費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P209(都020)			
目 街路事業費	【事業の概要】 県が実施する市域内の県道街路事業に要する経費の一部を負担することにより、幹線道路の整備を促進し、交通渋滞の緩和、利便性の確保を図る。なお、県営街路事業に要する市町村負担金は鳥取県が定めている。			
(単位:千円)	【事業の成果】 滝山桜谷線ほか4路線			
当初予算額	63,262	平成24年度 33,249千円 平成23年度 38,242千円 平成22年度 31,329千円		
補正予算額	△2,881	【今後の課題・方向性】 県営事業の着実な事業促進を図るとともに、市町村負担金の廃止・縮小について県と継続して協議を行う。		
予算流・充用額	0	【参考】		
最終予算額	60,381	評価結果 県営事業の負担金のあり方について関係機関と協議を行う。		
本年度決算額	33,249	評価結果		
区分	決算額	評価結果		
財源内訳	国・県支出金	0	評価結果	
	地方債	29,869	評価結果	
	その他	0	評価結果	
	一般財源	3,380	評価結果	
	計	33,249	評価結果	
前年度決算額	38,242	評価結果		

都013	項目名	若桜鉄道利用促進実行委員会負担金	
主要な施策	運輸交通関係負担金等	ページ	24
年度	H24	所 属 名 都市整備部 交通政策課	
事業の概要	<p>【問合せ先】交通政策課 0857-20-3257          【9次総の施策体系】4202          【予算計上の経過】          予算事業別概要目次          当初予算：P200（都001）          【事業の概要】          若桜鉄道の利用促進を通じて、沿線の産業経済の発展と住民生活の向上に資することを目的とし、平成9年6月2日に若桜鉄道利用促進実行委員会が設立された。鳥取県、鳥取市、八頭町、若桜町及び若桜鉄道(株)により構成される。          平成21年4月1日からは、八頭、若桜両町が線路などの鉄道施設を保有し、若桜鉄道(株)が運行を担う上下分離方式に移行した。          本市は、観光客誘致を含めた利用促進事業に対して引き続き支援している。          【事業の成果】          1 利用促進事業          八頭高校生対策・ホームページの維持管理・ミニ時刻表の作成          2 観光振興事業          観光ツアーの誘致・旅行会社との連携による観光商品の開発・関西へのPRイベント参加・鉄道記念日のイベント・観光パンフレットの作成          (利用者数)          H24 395,794人          H23 419,801人          H22 397,291人          【今後の課題・方向性】          少子高齢化による通勤通学客の減少等厳しい経営環境にあるため、観光客誘致を含めた利用促進事業に引き続き支援していく。</p>		
会計名	一般会計		
款	総務費		
項	総務管理費		
目	企画費		
(単位:千円)			
当初予算額	2,000		
補正予算額	0		
予算流・充用額	0		
最終予算額	2,000		
本年度決算額	2,000		
区分	決算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	2,000	
	計	2,000	
参考)	評価結果	少子高齢化による通勤通学客の減少等厳しい経営環境にあるため、観光客誘致を含めた利用促進事業に引き続き支援していく。	
前年度決算額	2,000		

都014	項目名	鳥取県東部鉄道利用促進実行委員会負担金	
主要な施策	運輸交通関係負担金等	ページ	24
年度	H24	所 属 名 都市整備部 交通政策課	
事業の概要	<p>【問合せ先】交通政策課 0857-20-3257          【9次総の施策体系】4202          【予算計上の経過】          予算事業別概要目次          当初予算：P200（都002）          【事業の概要】          余部鉄橋の架け替えに伴いJR山陰本線（鳥取－豊岡）の定時性が確保されるとともに、同本線のダイヤ改善として、平成23年春、臨時快速列車「山陰海岸ジオライナー」の新設及び一部の普通列車において浜坂駅で乗り換えなしの直通運転化が実現した。          このダイヤを継続し、定着させるため鳥取県・鳥取市・岩美町で組織する「鳥取県東部鉄道利用促進実行委員会」において、連携して利用促進に取り組み利用者の拡大を図る。          【事業の成果】          1 団体旅行、学校活動及び魅力ある旅行商品等への支援          2 利用促進PRキャンペーン・イベントの実施          3 駅アクセスの調整          【今後の課題・方向性】          山陰海岸ジオパーク世界認定を機に、鳥取駅発着の特急列車の増便も含めて、この地域における鉄道の利便性向上のため、引き続き、JRへの働きかけを行っていく。          また、JRの今後の運行計画を視野に入れて、引き続き利用促進事業に支援していく。</p>		
会計名	一般会計		
款	総務費		
項	総務管理費		
目	企画費		
(単位:千円)			
当初予算額	1,000		
補正予算額	0		
予算流・充用額	0		
最終予算額	1,000		
本年度決算額	1,000		
区分	決算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	1,000	
	計	1,000	
参考)	評価結果	山陰海岸ジオパーク世界認定を機に、鳥取駅発着の特急列車の増便も含めて、この地域における鉄道の利便性向上のため、引き続きJRへの働きかけを行っていく。また、JRの今後の運行計画を視野に入れて引き続き利用促進事業を支援していく。	
前年度決算額	1,000		

都015	項目名	鳥取空港の利用を促進する懇話会負担金																					
主要な施策	空港利用促進費	ページ	24																				
年度	H24	所 属 名 都市整備部 交通政策課																					
会計名	事業の概要																						
一般会計	<p>【問合せ先】交通政策課 0857-20-3257          【9次総の施策体系】4202          【予算計上の経過】          予算事業別概要目次          当初予算：P201（都003）          【事業の概要】          鳥取空港の利用促進と国際化の推進を図り、鳥取空港の発展を通じて地域の産業経済の発展と住民生活の向上に資するため、平成5年10月22日に設立された。          鳥取県、鳥取市をはじめとした鳥取県東・中部並びに兵庫県北部（香美町、新温泉町）の各自自治体、鳥取・倉吉商工会議所をはじめとした経済団体等により構成。          鳥取空港の利用率向上、増便、運賃低廉化の実現などへの取組により利用促進と国際化の推進を図る。          【事業の成果】          「鳥取空港の利用を促進する懇話会」において各種活動及び震災影響対策を実施。          ①県内外での路線のPR          ②旅行会社への商品造成の働きかけ等          ③利用促進に向けた各種キャンペーンの実施等          （負担金）一般・特別負担金 8,080千円          チャーター便負担金 333千円（2便）          （乗客数）H24 301,885人          H23 277,133人          H22 296,750人          【今後の課題・方向性】          今後、産業規模の大きくない本県では、現在のビジネス需要を急激に増加させることは困難であることから、首都圏での観光情報の発信と旅行商品造成など観光誘客策の拡大により、利用促進を図っていく必要がある。</p>																						
款 総務費	当初予算額	9,080	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>	その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収金	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収金	0																						
その他	0																						
項 総務管理費	補正予算額	△292																					
目 企画費	予算流・充用額	0																					
(単位:千円)	最終予算額	8,788																					
本年度決算額	8,413																						
区分	決算額																						
財源内訳	国・県支出金	0																					
	地方債	0																					
	その他	0																					
	一般財源	8,413																					
	計	8,413																					
(参考)	前年度決算額	8,371	評価結果 平成25年以降も羽田空港発着便の再配当にむけて、利用実績が非常に大事になるため、十分な利用促進対策が必要である。																				

都016	項目名	鳥取駅バリアフリー化整備事業費																					
主要な施策	鳥取駅バリアフリー化整備事業費	ページ	23																				
年度	H24	所 属 名 都市整備部 交通政策課																					
会計名	事業の概要																						
一般会計	<p>【問合せ先】交通政策課 0857-20-3257          【9次総の施策体系】4202          【予算計上の経過】          予算事業別概要目次          9月補正予算：P38（都001）          【事業の概要】          鳥取駅は、山陰両県の中で最も多い年間1万人を超す乗降客が利用する本市の交通や観光の玄関口である。          音声標識ガイドシステムは、視覚障がいを持っている人へ音声により情報提供を行う機器として、既に市役所をはじめ主要な福祉施設に設置されているが、現在鳥取駅にはこのシステムが未設置となっている。          鳥取駅へ音声標識ガイドシステムを設置することによりバリアフリー化を図るものである。          【事業の成果】          鳥取駅の北口と南口の2カ所に音声標識システムを設置した。          【今後の課題・方向性】          平成25年度はシャミネ側の耐震工事に合わせてコンコーストイレの改修を行う。</p>																						
款 総務費	当初予算額	0	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>	その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収金	0	その他	0
その他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収金	0																						
その他	0																						
項 総務管理費	補正予算額	2,042																					
目 企画費	予算流・充用額	0																					
(単位:千円)	最終予算額	2,042																					
本年度決算額	1,894																						
区分	決算額																						
財源内訳	国・県支出金	0																					
	地方債	0																					
	その他	0																					
	一般財源	1,894																					
	計	1,894																					
(参考)	前年度決算額	0	評価結果 引き続きバリアフリー化を推進する。																				

都017	項目名	山陰海岸ジオライナー活用支援事業費	
主要な施策	山陰海岸ジオライナー活用支援事業費	ページ	24
年度	H24	所 属 名 都市整備部 交通政策課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】交通政策課 0857-20-3257		
款 総務費	【9次総の施策体系】4202		
項 総務管理費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 9月補正予算：P38（都002）		
目 企画費	【事業の概要】 臨時快速列車「山陰海岸ジオライナー」は、平成23年4月から土日祝日において2往復、兵庫県但馬地域と鳥取県東部地域を乗り換えることなく結ぶ列車として運行されているが、利用状況については、決して多いとはいえない乗客数となっている。JR西日本からは平成25年度末までは運行すると聞いているが、今後、継続運行・定期運行に繋げていくために乗車率の向上を図る必要がある。		
(単位:千円)	【事業の成果】 臨時快速列車「山陰海岸ジオライナー」を活用した旅行商品を企画実施する鳥取市内の旅行事業者等に対し、旅行参加人数に応じて補助金を交付した。 (乗客数) H24 144人(8回)		
当初予算額	0	【今後の課題・方向性】 継続運行、定期運行に繋げていくために、乗車率の向上を図るため、引き続き事業を実施する。	
補正予算額	1,000		
予算流・充用額	0		
最終予算額	1,000	【参考】	
本年度決算額	1,000	評価結果 継続運行、定期運行に繋げていくために、乗車率の向上を図るため、引き続き事業を実施する。	
区分	決算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	1,000	
	計	1,000	
前年度決算額	0		

都018	項目名	地方バス路線維持対策補助金	
主要な施策	地方バス路線維持対策費	ページ	24
年度	H24	所 属 名 都市整備部 交通政策課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】交通政策課 0857-20-3257		
款 総務費	【9次総の施策体系】4202		
項 総務管理費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算：P201（都004）		
目 交通対策費	【事業の概要】 路線バスは、もっとも身近な公共交通手段であり、地域住民、特に高齢者や学生などの交通弱者にとっては欠くことのできない交通機関である。しかし、少子化の進展や自家用車の普及などにより、バス利用者は年々減り続けており、多くの路線が赤字運行になっている。このため、国・県・市がバス事業者に対し補助金を交付してバス路線の維持に努めている。		
(単位:千円)	【事業の成果】 高齢者や児童、生徒などの移動手段を確保するため、バス事業者へ補助金を交付することで、中山間地域をはじめとする鳥取市内の生活交通を維持している。 地方バス路線維持対策補助金実績 H24 215,399千円 H23 216,050千円 H22 206,089千円		
当初予算額	210,000	【今後の課題・方向性】 住民の生活交通を確保するため、更なるバス利用促進や運行経費削減への努力、代替交通手段の導入を含めた効率的かつ効果的な手段について検討・導入しながら、引き続き事業を実施する。	
補正予算額	5,399		
予算流・充用額	0		
最終予算額	215,399	【参考】	
本年度決算額	215,399	評価結果 住民の生活交通を確保するため、更なるバス利用促進や運行経費削減への努力、代替交通手段の導入を含めた効率的かつ効果的な手段について検討・導入しながら、引き続き事業を実施する。	
区分	決算額		
財源内訳	国・県支出金	28,618	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	186,781	
	計	215,399	
前年度決算額	216,050		

都019	項目名	バス代替タクシー運賃補助金		
主要な施策	生活交通確保対策事業費	ページ	24	所 属 名
年度	H24	都市整備部 交通政策課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】交通政策課 0857-20-3257			
款 総務費	【9次総の施策体系】4202			
項 総務管理費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算：P202（都005）、9月補正予算：P39（都003）			
目 交通対策費	【事業の概要】 路線バスの大幅な減便に伴い、代わりに乗合タクシーを運行し住民の生活交通を確保している。利用者は当該区間のバス運賃相当額を支払い、市は差額をタクシー事業者に支出する。 平成13年10月～ 洞谷地区 平成20年10月～ 国府地域、河原地域 平成22年1月～ 米里地域、気高・青谷地域 平成24年10月～ 南部地域			
(単位:千円)	【事業の成果】 路線バスの代替として、タクシーを既存の路線バスの各停留所を経由して運行させることにより、地域住民の生活交通の確保を図っている。			
当初予算額	12,292	【今後の課題・方向性】 本事業はバス路線補助を削減しつつ、住民の交通手段を確保する事業である。地域の実情に応じた生活交通を確保するため、今後も継続して事業実施する。		
補正予算額	△ 2,315			
予算流・充用額	0			
最終予算額	9,977	【参考】		
本年度決算額	8,698	評価結果		
区分	決算額	本事業はバス路線補助金を削減しつつ、住民の交通手段を確保する事業であり継続して事業を実施する。		
財源内訳	国・県支出金 0			
	地方債 900			
	その他 0			
	一般財源 7,798			
	計 8,698			
前年度決算額	1,633			

都020	項目名	住民参画型バス停上屋整備事業補助金		
主要な施策	生活交通確保対策事業費	ページ	24	所 属 名
年度	H24	都市整備部 交通政策課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】交通政策課 0857-20-3257			
款 総務費	【9次総の施策体系】4202			
項 総務管理費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 9月補正予算：P39（都004）			
目 交通対策費	【事業の概要】 地域の住民が主体となってバス停上屋整備の計画から管理まで実施することにより、地域の実情にあったバス停上屋を整備し、もって地域福祉の向上及び公共交通の利用促進に資することを目的として、平成16年度から実施している。			
(単位:千円)	【事業の成果】 地元が整備するバス停上屋に対する事業費補助 (負担割合) 地元1/3、市2/3 (市町村交付金 約1/2充当)			
当初予算額	1,200	平成24年度 7地区 2,293千円		
補正予算額	1,093	平成23年度 3地区 1,180千円		
予算流・充用額	0	平成22年度 1地区 805千円		
最終予算額	2,293	【今後の課題・方向性】 地元住民が自ら参画する現補助制度を維持することで、住民利便性の向上が図られたものとなるとともに、バス利用促進に向けた住民意識の向上が図られる。		
本年度決算額	2,293			
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金 708			
	地方債 0			
	その他 0			
	一般財源 1,585			
	計 2,293			
前年度決算額	1,180	【参考】		
		評価結果		
		地元住民が自ら参画する現補助制度を維持することで、住民利便性の向上が図られ、併せてバス利用促進に向けた住民意識の向上が図られている。		

都021	項目名	市町村有償運送事業費	
主要な施策	生活交通確保対策事業費	ページ	24
年度	H24	所 属 名 都市整備部 交通政策課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】交通政策課 0857-20-3257		
款 総務費	【9次総の施策体系】4202		
項 総務管理費	【予算計上の経過】		
目 交通対策費	予算事業別概要目次		
(単位:千円)	当初予算: P202 (都006)		
当初予算額	14,473	【事業の概要】	
補正予算額	0	合併前の気高町で運行していた福祉バスについて、平成18年7月から、道路運送法第78条に基づく自家有償運送(市町村運営有償運送)の「鳥取市気高循環バス」として運行している。平成20年10月からは、路線バス逢坂線廃止に伴い気高循環バス逢坂線を増便している。	
予算流・充用額	0	また、平成23年4月から交通空白地域である絹見地区に市町村運営有償運送により絹見バスを運行することにより、児童生徒、高齢者等の移動手段を確保する。	
最終予算額	14,473	【事業の成果】	
本年度決算額	13,693	気高循環バス	
区分	決算額	運行系統 4系統(瑞穂鹿野線、瑞穂上光線、船磯線、逢坂線)	
財源内訳		運行便数 16便	
国・県支出金	0	利用者数 H24 10,174人 H23 11,378人 H22 11,595人	
地方債	1,500	絹見バス	
その他	2,475	運行系統 1系統	
一般財源	9,718	運行便数 10便	
計	13,693	利用者数 H24 3,805人 H23 3,439人	
		運休日 土日祝日及び12月29日~1月3日	
		運賃 中学生以上200円、小学生100円、幼児無料、障がい者等100円	
		【今後の課題・方向性】	
		住民の生活交通確保と利便性向上を図るため引き続き運行を行う。	
(参考)		評価結果	
前年度決算額	13,318	地域の実情に応じた生活交通を確保するため、住民の利用しやすいダイヤ運行等業務改善を行いながら継続して事業を実施する。	

都022	項目名	過疎地有償運送支援事業費	
主要な施策	生活交通確保対策事業費	ページ	24
年度	H24	所 属 名 都市整備部 交通政策課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】交通政策課 0857-20-3257		
款 総務費	【9次総の施策体系】4202		
項 総務管理費	【予算計上の経過】		
目 交通対策費	予算事業別概要目次		
(単位:千円)	当初予算: P203 (都007)		
当初予算額	7,467	【事業の概要】	
補正予算額	△199	公共交通空白地域対策や公共交通を補完するものとして、NPO法人等が行う「過疎地有償運送」を支援する。	
予算流・充用額	0	【事業の成果】	
最終予算額	7,268	①福部循環バス(運行事業費補助) 3,146,084円	
本年度決算額	6,905	・事業実施主体 鳥取市取市社会福祉協議会	
区分	決算額	・運行区間 福部地域内 1日9回循環	
財源内訳		・乗車実績 H24 10,568人 H23 10,405人 H22 10,026人	
国・県支出金	1,848	②ふるさとバス(運行事業費補助) 816,000円	
地方債	0	" (車両購入費補助) 2,943,000円	
その他	0	・事業実施主体 NPO法人OMU	
一般財源	5,057	・運行区間 大郷・御熊・内海中地区(大郷コース・末恒コース)	
計	6,905	・乗車実績 H24 896人 H23 866人 H22 875人	
		【今後の課題・方向性】	
		市民との協働による公共交通確保事業の取り組みとして継続して事業を実施する。	
(参考)		評価結果	
前年度決算額	3,017	市民との協働による公共交通確保の取り組みとして継続して事業を実施する。	

都023	項目名	100円循環バス運行費負担金														
主要な施策	100円循環バス運行事業費	ページ	24	所 属 名												
年度	H24	都市整備部 交通政策課														
事業の概要	<p>【問合せ先】交通政策課 0857-20-3257</p> <p>【9次総の施策体系】4202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算：P203（都008）、9月補正予算：P40（都005）</p> <p>【事業の概要】 鳥取市100円循環バス「くる梨」は、中心市街地の利便性の向上を目的に、平成14年10月1日から実験運行を行い、平成16年1月から本格運行を開始している。街なかでの買物や通院、観光のため、なくてはならない乗り物と定着している。 （運行事業者）日ノ丸自動車㈱、日本交通㈱（道路運送法第4条による運行） （運行時間）8：05～18：45 （運行回数）平日62便（31便×2コース）、土日祝56便（28便×2コース）</p> <p>【事業の成果】 （実績）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>負担金</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24年度</td> <td>21,672千円</td> <td>290,816人</td> </tr> <tr> <td>23年度</td> <td>18,617千円</td> <td>301,916人</td> </tr> <tr> <td>22年度</td> <td>23,181千円</td> <td>281,811人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 中心市街地内の回遊性を高め、市民の利便性や商店街の活性化を図るため継続して事業を実施する。 平成25年度からは緑コースを追加し、平日93便、土日祝84便とする。</p>					負担金	利用者数	24年度	21,672千円	290,816人	23年度	18,617千円	301,916人	22年度	23,181千円	281,811人
	負担金	利用者数														
24年度	21,672千円	290,816人														
23年度	18,617千円	301,916人														
22年度	23,181千円	281,811人														
会計名	一般会計															
款	総務費															
項	総務管理費															
目	交通対策費															
(単位:千円)																
当初予算額	21,333	その他財源の内訳														
補正予算額	1,200	分担金	0													
予算流・充用額	0	負担金	0													
最終予算額	22,533	使用料	0													
本年度決算額	21,672	手数料	0													
区分	決算額	財産収入	0													
財源内訳	国・県支出金	0														
	地方債	0														
	その他	0														
	一般財源	21,672														
	計	21,672														
（参考）	前年度決算額	18,616	評価結果	利用促進を行いながら現状維持を行う。												

都024	項目名	バス乗継拠点整備事業費		
主要な施策	公共交通利用促進総合再編事業費	ページ	24	所 属 名
年度	H24	都市整備部 交通政策課		
事業の概要	<p>【問合せ先】交通政策課 0857-20-3257</p> <p>【9次総の施策体系】4202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 9月補正予算：P40（都006）</p> <p>【事業の概要】 「鳥取市地域公共交通総合連携計画（平成21年3月）」で示された「地域公共交通ネットワークの方向性」をもとに、平成22年度に鳥取市バス路線網再編実施計画を策定している。これらの計画に基づき、本年度は鳥取南部地域の先行実施に向けた「幹線・支線」を結ぶ乗継拠点整備を実施した。</p> <p>【事業の成果】 乗継拠点整備工事 1箇所（用瀬）</p> <p>【今後の課題・方向性】 整備事業は完了したため、本年度で終了する。</p>			
会計名	一般会計			
款	総務費			
項	総務管理費			
目	交通対策費			
(単位:千円)				
当初予算額	0	その他財源の内訳		
補正予算額	10,167	分担金	0	
予算流・充用額	0	負担金	0	
最終予算額	10,167	使用料	0	
本年度決算額	5,667	手数料	0	
区分	決算額	財産収入	0	
財源内訳	国・県支出金	2,153		
	地方債	3,100		
	その他	0		
	一般財源	414		
	計	5,667		
（参考）	前年度決算額	21,219	評価結果	整備事業が完了したため、本年度で終了する。

都025	項目名	バス購入事業費	
主要な施策	公共交通利用促進総合再編事業費	ページ	24
年度	H24	所 属 名 都市整備部 交通政策課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】交通政策課 0857-20-3257		
款 総務費	【9次総の施策体系】4202		
項 総務管理費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 9月補正予算：P41（都007）		
目 交通対策費	【事業の概要】 鳥取市100円循環バス「くる梨」は、中心市街地の利便性の向上を目的に、平成14年10月1日から実験運行を行い、平成16年1月から本格運行に移行している。現在、赤コース、青コースの2コースを運行しており、昨年度は、利用者が過去最高の301,916人に達し、街なかでの買物や通院、観光のため、なくてはならない乗り物として定着している。 本年度、この2コースに緑コースを追加し、3コースに増便することとした。		
(単位:千円)	【事業の成果】 2軸（智頭街道、若桜街道）を運行する鳥取市100円循環バス『緑コース』を新設することにより中心市街地内の回遊性を高め、市民の利便性と商店街の活性化を図ることを目的とし、新設に伴う新規車両2台を購入した。		
当初予算額	0	【今後の課題・方向性】 事業完了のため本年度で終了する。	
補正予算額	44,077		
予算流・充用額	10		
最終予算額	44,087	【事業の成果】 2軸（智頭街道、若桜街道）を運行する鳥取市100円循環バス『緑コース』を新設することにより中心市街地内の回遊性を高め、市民の利便性と商店街の活性化を図ることを目的とし、新設に伴う新規車両2台を購入した。	
本年度決算額	43,956	【今後の課題・方向性】 事業完了のため本年度で終了する。	
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 事業完了のため本年度で終了する。	
財源内訳	国・県支出金	21,562	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	22,394	
	計	43,956	
(参考)	前年度決算額	0	評価結果 事業完了のため本年度で終了する。

都026	項目名	南部地域実証運行費	
主要な施策	公共交通利用促進総合再編事業費	ページ	24
年度	H24	所 属 名 都市整備部 交通政策課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】交通政策課 0857-20-3257		
款 総務費	【9次総の施策体系】4202		
項 総務管理費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算：P204（都010）、6月補正予算：P21（都001） 12月補正予算：P26（都001）		
目 交通対策費	【事業の概要】 南部地域新総合公共交通計画に基づき、平成24年10月から河原町・用瀬町・佐治町を中心とした鳥取市南部地域において、バス路線を再編し実証運行を開始した。 現状のバス路線を、鳥取駅と河原・用瀬中心部を結ぶ国道53号線を運行する「幹線」と、地域の中心部と各集落とを結ぶ「支線」に再編し、鉄道・バス・タクシー・自転車等の交通相互の連携がとれた利便性が高い、効率的な「新しい総合公共交通システム」の構築を図る。		
(単位:千円)	【事業の成果】 (1) 小型車両購入 3台 (2) バスアテンダント配置（河原・用瀬の乗継拠点に配置） (3) 地域別時刻表の作成・配布、アンケート調査の実施 (4) 乗降調査の実施		
当初予算額	24,863	【今後の課題・方向性】 平成25年10月からの本格運行に向けて、問題・課題等を整理検討していく。	
補正予算額	△2,914		
予算流・充用額	0		
最終予算額	21,949	【今後の課題・方向性】 平成25年10月からの本格運行に向けて、問題・課題等を整理検討していく必要がある。	
本年度決算額	21,811		
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 平成25年10月からの本格運行に向けて、問題・課題等を整理検討していく必要がある。	
財源内訳	国・県支出金	9,665	
	地方債	1,500	
	その他	1	
	一般財源	10,645	
	計	21,811	
(参考)	前年度決算額	0	評価結果 平成25年10月からの本格運行に向けて、問題・課題等を整理検討していく必要がある。

都027	項目名	夜間乗合タクシー実証運行事業	
主要な施策	公共交通利用促進総合再編事業費	ページ	24
年度	H24	所 属 名 都市整備部 交通政策課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】交通政策課 0857-20-3257		
款 総務費	【9次総の施策体系】4202		
項 総務管理費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算：P205（都011）		
目 交通対策費	【事業の概要】 深夜等の公共交通空白時間帯における交通手段について、乗合タクシー等の運行形態について調査研究するために補助金を交付する。		
(単位:千円)	【事業の成果】 週末夜間（金・土）における、事前予約型乗合タクシーのアンケート調査を行った。		
当初予算額	250	【今後の課題・方向性】 本事業は平成24年度をもって終了する。	
補正予算額	0		
予算流・充用額	0		
最終予算額	250	その他の財源の内訳	
本年度決算額	250	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	決算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	250	
	計	250	
(参考)	前年度決算額	0	評価結果 平成24年度をもって終了とする。

都028	項目名	鳥取港振興会対策費	
主要な施策	鳥取港振興対策費	ページ	39
年度	H24	所 属 名 都市整備部 交通政策課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】交通政策課 0857-20-3257		
款 土木費	【9次総の施策体系】4202		
項 港湾費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算：P207（都016）、6月補正予算：P21（都002）		
目 港湾総務費	【事業の概要】 官民一体となって鳥取港の施設の整備及び施設の利用促進に積極的に取り組み、地域産業・経済の発展に寄与することを目的として、昭和59年12月5日に設立された。市、県、商工会議所並びに民間団体で構成。		
(単位:千円)	・事業内容		
当初予算額	4,033	①ポートセールス活動	
補正予算額	2,326	②外国貿易促進活動	
予算流・充用額	0	③港湾振興に関する情報収集、調査、分析	
最終予算額	6,359	④港湾施設の整備及び、港湾関係公共機関の設置に係る要望活動	
本年度決算額	5,438	⑤クルーズ船誘致活動	
		【事業の成果】	
		・会費 10千円	
		・補助割合 対象経費の1/2（鳥取県負担額）	
		H24 5,428千円（5,428千円）	
		・事業実績	
		H24 貨物取扱量60万トン クルーズ船就航2隻	
		H23 貨物取扱量37万トン クルーズ船就航1隻	
		H22 貨物取扱量51万トン クルーズ船就航4隻	
		【今後の課題・方向性】 鳥取港は「クルーズ船の寄港地」である観光港としてのにぎわい創出とともに、無料の高速道路というセールスポイントを生かして、引き続き貨物取扱量の増加に取り組んでいく。	
(参考)	前年度決算額	3,385	評価結果 現状を維持しつつ、さらなる鳥取港の振興を図る。

都029	項目名	まちなか学生にぎわいプロジェクト事業費	
主要な施策	特色あるまちづくり推進事業費	ページ	24
年度	H24	所 属 名 都市整備部 中心市街地整備課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】中心市街地整備課 0857-20-3276		
款 総務費	【9次総の施策体系】4203		
項 総務管理費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 9月補正予算・P43(都012)		
目 企画費	【事業の概要】 若者のまちなか活動の促進、まちづくりへの参画、居住環境整備による街なか居住の推進、地域や多世代の交流促進などにより、若者をまちなかへ呼び戻し、活力や賑わいのあるまちなかを形成するとともに、学生の鳥取への定着を図る。 また、拠点や居住空間の整備には、既存の建物を改修することを検討し、増加を続ける空き家、空き部屋、空き店舗の有効活用策を提案する。		
(単位:千円)	【事業の成果】 平成24年度 3件の学生提案事業に対して支援を行った。		
当初予算額	0	【今後の課題・方向性】 引き続き、中心市街地の活性化に資すると認められる学生提案事業に対して支援していく。	
補正予算額	400		
予算流・充用額	0		
最終予算額	400	【参考】	
本年度決算額	261	評価結果 中心市街地の活性化に資すると認められる学生提案事業に対して支援していく。	
区分	決算額	評価結果	
財源内訳		中心市街地の活性化に資すると認められる学生提案事業に対して支援していく。	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	261		
計	261		
前年度決算額	0		

都030	項目名	街なか居住推進事業費	
主要な施策	都心居住推進事業費	ページ	24
年度	H24	所 属 名 都市整備部 中心市街地整備課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】中心市街地整備課 0857-20-3276		
款 総務費	【9次総の施策体系】4203		
項 総務管理費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P210(都021)		
目 企画費	【事業の概要】 歴史・文化が蓄積し、病院・交通・公共機関などの都市機能が集積している中心市街地は、子育て世帯から高齢者まで多くの人にとって、便利で豊かな生活を実現し得る地域であるといえるにもかかわらず、近年、空地や駐車場などの低未利用地が急激に増加している。 その背景には、高い住居負担、魅力的な住宅や土地及び住環境・コミュニティに関する課題等があり、こうしたことを踏まえ、「鳥取市街なか居住推進調査研究会」より、「新たな住宅供給方式によるモデルプロジェクトの実施」、「魅力的な中心市街地でのライフスタイル(街なかライフスタイル)の普及・啓発」、「良好なコミュニティ形成に寄与する住宅の普及」などの施策展開を図るよう提言がなされたとともに、土地所有者の視点での検討の必要性についても指摘があった。 そこで、空地や駐車場などの低未利用地を住宅に転換する土地所有者や、コミュニティに寄与する住宅を建設する者に対し支援をおこなうとともに、モデルプロジェクトを実施し、具体的な事業手法、事業プロセスを公開する。また、住まいに関する総合相談窓口の設置、運営を行う。 空地や駐車場などの低未利用地を住宅に転換する土地所有者や、コミュニティに寄与する住宅を建設する者に対し支援をおこなうとともに、定期借地権によるコーポラティブハウスモデルプロジェクトの具体的な事業手法、事業プロセスを公開した。 街なか居住を推進するための多面的な体制を構築し、さまざまなニーズに対して、情報提供を行うことで、街なか居住人口、流入人口の増加を図った。 【今後の課題・方向性】 モデル事業、支援事業の一般周知を徹底し、民間で活用できる仕組みを構築する。 住まいに関する総合相談窓口については、関係各課と連携し、全市的な取り組みへの拡充や、相談体制の充実なども検討したい。		
(単位:千円)	【事業の成果】 空地や駐車場などの低未利用地を住宅に転換する土地所有者や、コミュニティに寄与する住宅を建設する者に対し支援をおこなうとともに、定期借地権によるコーポラティブハウスモデルプロジェクトの具体的な事業手法、事業プロセスを公開した。 街なか居住を推進するための多面的な体制を構築し、さまざまなニーズに対して、情報提供を行うことで、街なか居住人口、流入人口の増加を図った。		
当初予算額	13,818	【今後の課題・方向性】 モデル事業、支援事業の一般周知を徹底し、民間で活用できる仕組みを構築する。 住まいに関する総合相談窓口については、関係各課と連携し、全市的な取り組みへの拡充や、相談体制の充実なども検討したい。	
補正予算額	△482		
予算流・充用額	0		
最終予算額	13,336	【参考】	
本年度決算額	12,577	評価結果 鳥取市のめざす多機能コンパクトシティの実現には、中心市街地の居住人口増加が必要不可欠であり、街なか居住推進事業に引き続き取り組む必要がある。特に、鳥取市中心市街地活性化基本計画において「歴史・文化・自然などの地域資源を活かし、地元や周辺地域等の人が憩う居住・交流の核」として位置づけられている鳥取城跡周辺地域においての居住人口減少に対する取り組みの強化が求められている。 今後は、高齢者、障害者、子育て世代などにとっても住みよい居住空間を形成するため、ターゲットを明確にした取り組みについて具体的に検討していきたい。	
区分	決算額	評価結果	
財源内訳		鳥取市のめざす多機能コンパクトシティの実現には、中心市街地の居住人口増加が必要不可欠であり、街なか居住推進事業に引き続き取り組む必要がある。特に、鳥取市中心市街地活性化基本計画において「歴史・文化・自然などの地域資源を活かし、地元や周辺地域等の人が憩う居住・交流の核」として位置づけられている鳥取城跡周辺地域においての居住人口減少に対する取り組みの強化が求められている。 今後は、高齢者、障害者、子育て世代などにとっても住みよい居住空間を形成するため、ターゲットを明確にした取り組みについて具体的に検討していきたい。	
国・県支出金	8,281		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	4,296		
計	12,577		
前年度決算額	565		

都031	項目名	中心市街地活性化協議会運営助成事業費	
主要な施策	中心市街地活性化推進事業費	ページ	37
年度	H24	所 属 名 都市整備部 中心市街地整備課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】中心市街地整備課 0857-20-3276		
款 商工費	【9次総の施策体系】4203		
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P211(都023)		
目 商工業振興費	【事業の概要】 鳥取市中心市街地活性化協議会は、中心市街地活性化において重要な組織であり、中心市街地にぎわい拠点である市民交流ホールの利用促進、各種民間事業者間の連絡調整、協議会専門部会の開催など、業務は増大しているが、財政基盤が脆弱なため、行政の支援が必要不可欠である。 中心市街地活性化法の改正により設立される中心市街地活性化協議会並びに協議会設置団体に対して補助金を支出し、安定した運営と中心市街地の活性化策の進展を図る。		
(単位:千円)	【事業の成果】 中心市街地活性化協議会並びに協議会設置団体の安定的運営に資した。		
当初予算額	8,991	【今後の課題・方向性】 今後の中心市街地活性化協議会のあり方について協議を行うなかで、より効率的な支援方法を検討していく。	
補正予算額	0		
予算流・充用額	0		
最終予算額	8,991	【事業の成果】 中心市街地活性化協議会並びに協議会設置団体の安定的運営に資した。	
本年度決算額	8,991	【今後の課題・方向性】 今後の中心市街地活性化協議会のあり方について協議を行うなかで、より効率的な支援方法を検討していく。	
区分	決算額	【事業の成果】 中心市街地活性化協議会並びに協議会設置団体の安定的運営に資した。	
財源内訳		【今後の課題・方向性】 今後の中心市街地活性化協議会のあり方について協議を行うなかで、より効率的な支援方法を検討していく。	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	8,991		
計	8,991		
(参考)		【事業の成果】 中心市街地活性化協議会並びに協議会設置団体の安定的運営に資した。	
前年度決算額	2,111	【今後の課題・方向性】 今後の中心市街地活性化協議会のあり方について協議を行うなかで、より効率的な支援方法を検討していく。	
評価結果	中心市街地活性化協議会は、本市の中心市街地活性化施策において重要な役割を占めている一方、財政基盤が脆弱であるため、運営においては行政の支援が必要不可欠である。現在、今後の中心市街地活性化協議会のあり方について協議を行うなかで、より効率的な支援方法を検討していく。		

都032	項目名	中心市街地活性化助成事業費	
主要な施策	中心市街地活性化推進事業費	ページ	37
年度	H24	所 属 名 都市整備部 中心市街地整備課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】中心市街地整備課 0857-20-3276		
款 商工費	【9次総の施策体系】4203		
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P211(都024)		
目 商工業振興費	【事業の概要】 中心市街地区域内における民間イベント等の開催を支援することにより、中心市街地への集客によるにぎわい創出、中心市街地に対する関心喚起、中心市街地活性化に取り組む人材の育成をめざす。 中心市街地区域内で公募提案型集客イベント等を実施する者に対し、イベント経費を補助する。 *街なか駐車場無料開放デー マイカー依存度の高い本市にとって、街なか駐車場の利用しやすさと街なかの賑わい(来街者の増加)は、密接な関係があると考えられる。 商店街が実施するイベント会場周辺の駐車場を利用する人を対象に、街なかに訪れやすい駐車場環境を整えることで、来街者の滞留時間の延長につなげる。 街なか駐車場無料開放デーを実施する商店街等に対して、支援を行なう。		
(単位:千円)	【事業の成果】 年間を通じて来街者の呼び込みにつながっているほか、さまざまな媒体を通じてイベント情報が発信されることにより、中心市街地への関心喚起が図られている。 また、街なか駐車場無料開放デー補助により、中心市街地に来街しやすい環境を整えている。(街なか駐車場無料開放デー補助は平成24年度で終了)		
当初予算額	6,400	【今後の課題・方向性】 中心市街地の賑わい創出と、企画立案者の育成のため、引き続きイベント開催の支援を行うとともに、平成24年度で終了した街なか駐車場無料開放デー補助に代わる何らかの支援ができないか検討していく。	
補正予算額	△100		
予算流・充用額	0		
最終予算額	6,300	【事業の成果】 年間を通じて来街者の呼び込みにつながっているほか、さまざまな媒体を通じてイベント情報が発信されることにより、中心市街地への関心喚起が図られている。 また、街なか駐車場無料開放デー補助により、中心市街地に来街しやすい環境を整えている。(街なか駐車場無料開放デー補助は平成24年度で終了)	
本年度決算額	5,928	【今後の課題・方向性】 中心市街地の賑わい創出と、企画立案者の育成のため、引き続きイベント開催の支援を行うとともに、平成24年度で終了した街なか駐車場無料開放デー補助に代わる何らかの支援ができないか検討していく。	
区分	決算額	【事業の成果】 年間を通じて来街者の呼び込みにつながっているほか、さまざまな媒体を通じてイベント情報が発信されることにより、中心市街地への関心喚起が図られている。 また、街なか駐車場無料開放デー補助により、中心市街地に来街しやすい環境を整えている。(街なか駐車場無料開放デー補助は平成24年度で終了)	
財源内訳		【今後の課題・方向性】 中心市街地の賑わい創出と、企画立案者の育成のため、引き続きイベント開催の支援を行うとともに、平成24年度で終了した街なか駐車場無料開放デー補助に代わる何らかの支援ができないか検討していく。	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	5,928		
計	5,928		
(参考)		【事業の成果】 年間を通じて来街者の呼び込みにつながっているほか、さまざまな媒体を通じてイベント情報が発信されることにより、中心市街地への関心喚起が図られている。 また、街なか駐車場無料開放デー補助により、中心市街地に来街しやすい環境を整えている。(街なか駐車場無料開放デー補助は平成24年度で終了)	
前年度決算額	5,871	【今後の課題・方向性】 中心市街地の賑わい創出と、企画立案者の育成のため、引き続きイベント開催の支援を行うとともに、平成24年度で終了した街なか駐車場無料開放デー補助に代わる何らかの支援ができないか検討していく。	
評価結果	補助対象イベントでの集客実績は、中心市街地のにぎわい創出に十分に寄与しており、公募提案型イベントへの補助とすることで、企画立案者の育成等も行ってきた。平成23年度より、重点場所においては補助率、補助上限額を高く設定し、中心市街地の賑わいの核となる施設やエリアに大型イベントを呼び込み、他の中心市街地活性化事業との相乗効果による賑わい創出の強化を図っている。街なか駐車場無料開放デー補助は平成24年度で終了したが、それに代わる何らかの支援ができないか検討したい。		

都033	項目名	市民交流ホール運営費補助金	
主要な施策	中心市街地活性化推進事業費	ページ	37
年度	H24	所 属 名 都市整備部 中心市街地整備課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】中心市街地整備課 0857-20-3276		
款 商工費	【9次総の施策体系】4203		
項 商工費	【事業の概要】		
目 商工業振興費	平成12年3月、鳥取銀行本店跡地を、中心市街地活性化を目的とする「弥生にぎわい拠点整備事業」用地として鳥取市土地開発公社が取得し、平成16年度、鳥取本通商店街振興組合が事業主体となり、「弥生にぎわい拠点」を整備している。		
(単位:千円)	「市民交流ホール」は、多様化する市民交流ネットワークの起点として位置付け、集客力のある魅力的なテナント構成の商業施設と併せ、市民生活交流や多様な市民活動の拠点として、中心市街地の賑わいを創出する。		
当初予算額	11,898	一方で、公的施設に準じた使用料の設定となっていることから収益性が低く、事業者への負担が重く押し掛かるため、管理運営費のうち人件費の10/10、その他の管理費について4/5を補助する。	
補正予算額	0	また、併せて中心市街地の活性化に資すると認め、市民交流ホールの利用料金を減免した相当額のうち、市内に事務所を有する団体が行う文化芸術活動等に係るものに対し補助を行う。	
予算流・充用額	0	【事業の成果】	
最終予算額	11,898	市民交流ホールの集客力向上、利用促進により、中心市街地の賑わいが創出された。	
本年度決算額	11,898	【今後の課題・方向性】	
区分	決算額	中心市街地再生を継続的に推進するために、引き続き市民交流ホールの運営支援を行う。	
財源内訳	国・県支出金 0	。	
	地方債 0	。	
	その他 1,167	。	
	一般財源 10,731	。	
	計 11,898	。	
(参考)	前年度決算額 11,898	評価結果	
		パレットとっとりは市民交流ネットワークの起点であり、多様な市民交流の場としての公共的な役割を担っている。市民交流ホールの集客を高めることは、パレットと通りの拠点性を高めるとともに、周辺商店街等への賑わい創出に資するものである。今後もホールの集客力向上、利用促進に努めることで、中心市街地における賑わい拠点性を維持し、継続した中心市街地再生を図る。	

都034	項目名	弥生にぎわい拠点施設集客力強化事業費	
主要な施策	弥生にぎわい拠点整備事業費	ページ	37
年度	H24	所 属 名 都市整備部 中心市街地整備課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】中心市街地整備課 0857-20-3276		
款 商工費	【9次総の施策体系】4203		
項 商工費	【予算計上の経過】		
目 商工業振興費	予算事業別概要目次		
(単位:千円)	6月補正予算・P22(都004)		
当初予算額	0	【事業の概要】	
補正予算額	3,000	平成17年4月にオープンした弥生賑わい拠点「パレットとっとり」は、年間入館者数約60万人を数える賑わい拠点として定着し、本通商店街を中心とする周辺地域の賑わい創出に大きく寄与している。	
予算流・充用額	0	このうち、2階コートは、利用者の休憩や談笑等に利用できるフリースペースとして整備されたものであるが、イベント開催時以外は利用者も少なく、閑散とした状態となっており、当該スペースの有効活用によるさらなる賑わい創出が課題となっている。	
最終予算額	3,000	パレットとっとり2階コートに常設店舗ブースを新設し、商店街に不足している業種をテナントとして誘致するため、運営主体である鳥取本通商店街振興組合に対し、建物設置等に係る経費の一部を補助する。(補助率1/2・上限300万円)	
本年度決算額	3,000	このことにより、賑わい拠点としての集客力を強化し、周辺地域のさらなる賑わい創出と民間投資の呼び込みを図る。	
区分	決算額	【事業の成果】	
財源内訳	国・県支出金 0	パレットとっとり2階コートに常設店舗ブースを新設し、商店街に不足している業種をテナントとして誘致した。	
	地方債 0	【今後の課題・方向性】	
	その他 0	テナントが誘致できたため、事業を終了する。	
	一般財源 3,000	。	
	計 3,000	。	
(参考)	前年度決算額 0	評価結果	
		テナントが誘致できたため、事業を終了する。	

都035	項目名	鳥取駅前太平線再生プロジェクト事業費	
主要な施策	鳥取駅周辺再生整備事業費	ページ	39
年度	H24	所 属 名 都市整備部 中心市街地整備課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】中心市街地整備課 0857-20-3278		
款 土木費	【9次総の施策体系】4203		
項 都市計画費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P213(都027)		
目 都市計画総務費	【事業の概要】 2カ年にわたる実証事業で、交通量の減少により余裕の出来た道路空間を活用することで、人が集まる魅力的な空間を生み出せることが実証された。 実証事業の成果を踏まえ、市道駅前太平線(鳥取駅前～太平線通り交差点)を人が集まる魅力的な空間に変え、この環境整備に合わせた沿線への新規出店や既存店舗のリニューアルなど新規投資に対して支援策をパッケージングすることで、本プロジェクトの事業効果を最大限発揮させることが出来る。このプロジェクトの成功が鳥取駅周辺再生整備事業の起爆剤となり、鳥取駅前太平線が中心市街地再生のシンボルとなる。 市道駅前太平線整備とあわせ、沿道事業者との連携による一体的な魅力ある空間づくりを行うための、沿道事業者のファサード整備に対する支援等の補助を行う。		
(単位:千円)	【事業の成果】 沿道事業者のファサード整備の実施により、市道駅前太平線の景観が改善され、新たに整備した大屋根と一体的な空間となった。		
当初予算額	33,533	【今後の課題・方向性】 基本計画に基づき、官民共同による駅前太平線再生に向け、関係機関等との連携を深めながら、事業の円滑化を図る。 駅前太平線広場の管理運営、イベントに対する支援を行う。	
補正予算額	0		
予算流・充用額	0		
最終予算額	33,533	【参考】	
本年度決算額	33,533	評価結果 基本計画に基づき、官民共同による駅前太平線再生に向け、関係機関等との連携を深めながら、事業の円滑化を図りたい。 駅前太平線広場の管理運営、イベントに対する支援を行う。	
区分	決算額		
財源内訳	国・県支出金	16,766	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	16,767	
	計	33,533	
前年度決算額	12,810		

都036	項目名	鳥取駅周辺再生整備事業費	
主要な施策	鳥取駅周辺再生整備事業費	ページ	39
年度	H24	所 属 名 都市整備部 中心市街地整備課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】中心市街地整備課 0857-20-3278		
款 土木費	【9次総の施策体系】4203		
項 都市計画費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P213(都028)		
目 都市計画総務費	【事業の概要】 鳥取駅周辺地区は交通の要衝として発展してきたことから、大型店舗や商店街が集中するとともに、公共公益施設も所在しているなど、都市基盤や地域資源が充実しているが、近年は、交流や経済活動の中心地としての賑わいや活気が衰退しつつある。 そのような中、中心市街地活性化基本計画において、駅周辺地区をひとつの重要な核として位置づけ、各種再生に向けた施策を講じてきた。 本市がめざす「多極型コンパクトシティ」の実現に向け、今後30年を見通した中心核としての鳥取駅周辺の再生を図る。 そこで、鳥取駅周辺再生基本構想を策定するとともに、関係事業や施設整備等について関係機関との協議及び調整を行ない、鳥取駅周辺再生基本計画を策定する。		
(単位:千円)	【事業の成果】 鳥取駅周辺再生基本計画を策定するとともに、関係機関と協議調整を行った。		
当初予算額	74,105	【今後の課題・方向性】 「鳥取駅周辺再生基本構想」及び「鳥取駅周辺再生基本計画」における整備施設として位置づける、鳥取駅南公共駐車場に関し、来年度以降、関係機関との協議調整、各施設にかかる検討を行なう。	
補正予算額	△51,934		
予算流・充用額	0		
最終予算額	22,171	【参考】	
本年度決算額	1,353	評価結果 「鳥取駅周辺再生基本構想」及び「鳥取駅周辺再生基本計画」における整備施設として位置づける、鳥取駅南公共駐車場に関し、来年度以降、関係機関との協議調整、各施設にかかる検討を行なう。	
区分	決算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	1,000	
	その他	0	
	一般財源	353	
	計	1,353	
前年度決算額	26,580		

都037	項目名	鳥取城跡周辺活性化事業費	
主要な施策	鳥取城跡周辺活性化事業費	ページ	39
年度	H24	所 属 名 都市整備部 中心市街地整備課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】中心市街地整備課 0857-20-3276		
款 土木費	【9次総の施策体系】4203		
項 都市計画費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P214（都029）		
目 都市計画総務費	【事業の概要】 本市のめざす「多極型のコンパクトなまちづくり」の実現のためには中心市街地の活性化は必要不可欠であり、平成19年に鳥取市中心市街地活性化基本計画が策定された。（計画期間：平成19年11月～平成25年3月） 現行の中心市街地活性化基本計画の計画期間終了に伴い、新たな中心市街地活性化基本計画を策定するにあたり、鳥取城跡周辺地域の活性化策を検討し、その成果を第2期鳥取市中心市街地活性化基本計画に反映させる。		
(単位:千円)	【事業の成果】 鳥取城跡周辺地域の活性化について検討し、その成果を第2期鳥取市中心市街地活性化基本計画に反映させた。		
当初予算額	676	【今後の課題・方向性】 平成24年度に基本計画を策定し、国の認定を受けたため、終了とする。	
補正予算額	△621		
予算流・充用額	0		
最終予算額	55	【事業の成果】 鳥取城跡周辺地域の活性化について検討し、その成果を第2期鳥取市中心市街地活性化基本計画に反映させた。	
本年度決算額	54	【今後の課題・方向性】 平成24年度に基本計画を策定し、国の認定を受けたため、終了とする。	
区分	決算額	【事業の成果】 鳥取城跡周辺地域の活性化について検討し、その成果を第2期鳥取市中心市街地活性化基本計画に反映させた。	
財源内訳		【今後の課題・方向性】 平成24年度に基本計画を策定し、国の認定を受けたため、終了とする。	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	54		
計	54		
(参考)		評価結果	
前年度決算額	0	平成24年度に基本計画を策定し、国の認定を受けたため、終了とする。	

都038	項目名	殿ダム対策費	
主要な施策	殿ダム対策費	ページ	37
年度	H24	所 属 名 都市整備部 都市環境課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】管理係 0857-20-3252		
款 土木費	【9次総の施策体系】4201		
項 土木管理費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P214（都030）		
目 土木総務費	【事業の概要】 ダム事業を円滑に推進するため、殿ダム周辺集落等の生活再建・活性化対策を行ってきた。平成24・25年度で、記念広場・中央広場などのダム周辺の整備を行い、更なる地域活性化を図る。		
(単位:千円)	【事業の成果】 記念広場整備工事等 149,390千円 記念広場地質調査業務等 4,676千円 水源地域等対策事業補助金 6,000千円 基金積立金 200千円 人件費等 8,614千円 事務費等 2,721千円		
当初予算額	209,212	過年度決算額 (21)251,684千円 (22)126,669千円 (23)87,556千円	
補正予算額	△2,404	【今後の課題・方向性】 周辺整備においては、平成25年度で事業完了の予定。	
予算流・充用額	0		
最終予算額	206,808	【事業の成果】 記念広場整備工事等 149,390千円 記念広場地質調査業務等 4,676千円 水源地域等対策事業補助金 6,000千円 基金積立金 200千円 人件費等 8,614千円 事務費等 2,721千円	
本年度決算額	171,601	【今後の課題・方向性】 周辺整備においては、平成25年度で事業完了の予定。	
区分	決算額	【事業の成果】 記念広場整備工事等 149,390千円 記念広場地質調査業務等 4,676千円 水源地域等対策事業補助金 6,000千円 基金積立金 200千円 人件費等 8,614千円 事務費等 2,721千円	
財源内訳		【今後の課題・方向性】 周辺整備においては、平成25年度で事業完了の予定。	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	171,601		
一般財源	0		
計	171,601		
(参考)		評価結果	
前年度決算額	87,556	殿ダム水源地域ビジョンの基本方針に基づいた行動計画を継続的な展開を図りながら、ダム周辺の広場整備や観光資源としてのダムの有効活用を進める必要がある。	

都039	項目名	道路改良事業費(政策)	
主要な施策	道路改良費	ページ	38
年度	H24	所 属 名	
会計名	都市整備部 都市環境課		
一般会計	事業の概要		
款	土木費	【問合せ先】河川係 0857-20-3256	
項	道路橋梁費	【9次総の施策体系】4102	
目	道路新設改良費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 9月補正予算・P44(都013)	
(単位:千円)		【事業の概要】 市道弥生橋通りは当該区間のみ歩道が未整備であり、通勤・通学など交通量の多い時間帯は、危ない状況があること及びガードレールに加え転落防止柵を併設するなど煩雑な景観であるため、安全性の向上と景観・環境改善を目的とした道路改良を実施する。	
当初予算額	0	【事業の成果】 市道弥生橋通り道路改良工事設計業務 2,997千円	
補正予算額	3,000	【今後の課題・方向性】 事業の早期完了を図る。	
予算流・充用額	0		
最終予算額	3,000	【参考】	
本年度決算額	2,997	評価結果	
区分	決算額	道路環境の改善や道路交通の安全を図るため、迅速かつ適切な道路改良を行い、事業を早期完了する必要がある。	
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	2,997		
計	2,997		
前年度決算額	0		

都040	項目名	普通河川改良事業費	
主要な施策	普通河川改良事業費	ページ	38
年度	H24	所 属 名	
会計名	都市整備部 都市環境課		
一般会計	事業の概要		
款	土木費	【問合せ先】河川係 0857-20-3256	
項	河川費	【9次総の施策体系】4102	
目	河川総務費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P215(都031)、6月補正予算・P23(都005)	
(単位:千円)		【事業の概要】 河川災害を未然に防止するため、治水環境衛生上重要な法定外水路の改修・改良を行い、流域の浸水被害の軽減及び環境改善を図る。	
当初予算額	68,950	【事業の成果】 福井川ほか河川改良工事 12,997千円 内海川ほか河川改良工事測量設計業務 12,920千円 工事に伴う用地取得 871千円 事務費等 876千円	
補正予算額	11,371	過年度決算額 (21)82,039千円 (22)53,992千円 (23)34,363千円	
予算流・充用額	0	【今後の課題・方向性】 河川災害等の防止を図るため、計画的な工事の発注を図る。	
最終予算額	80,321		
本年度決算額	27,664		
区分	決算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	24,800		
その他	0		
一般財源	2,864		
計	27,664		
前年度決算額	34,363	評価結果	
		流域の浸水被害の軽減、環境改善を図る上で重要な事業である。	

都041	項目名	治水対策事業費	
主要な施策	治水対策事業費	ページ	38
年度	H24	所 属 名 都市整備部 都市環境課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】河川係 0857-20-3256		
款 土木費	【9次総の施策体系】4102		
項 河川費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P215（都032）		
目 河川総務費	【事業の概要】 浸水被害箇所への計画的な内水排除対策工事等実施し、治水対策事業の促進を図る。 洪水時の宅地浸水被害に緊急対応するため、既設ポンプ場の点検及び修繕を行う。		
(単位:千円)	【事業の成果】		
当初予算額	109,750	江川ほか河川改良工事	19,464千円
補正予算額	△5,300	工事に伴う土地借上	481千円
予算流・充用額	0	工事に伴う補償	11,366千円
最終予算額	104,450	伏野ポンプ場ほか点検業務等	3,081千円
本年度決算額	39,100	排水ポンプ電話代等	427千円
区分	決算額	事務費等	4,281千円
財源内訳	国・県支出金	432	過年度決算額
	地方債	31,000	(21)98,998千円 (22)50,481千円 (23)48,884千円
	その他	0	【今後の課題・方向性】
	一般財源	7,668	内水処理対策による浸水防止を行い、住民の安全確保を図る。
	計	39,100	
(参考)	前年度決算額	48,884	評価結果
			内水処理対策による浸水防止を行い、住民の安全の確保を図る。

都042	項目名	工業団地整備関係事業費	
主要な施策	工業団地整備関係事業費	ページ	38
年度	H24	所 属 名 都市整備部 都市環境課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】河川係 0857-20-3256		
款 土木費	【9次総の施策体系】4102		
項 河川費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P216（都033）		
目 河川総務費	【事業の概要】 河原インター山手工業団地整備事業に伴い、その用地内から発生する雨水を処理するための流域排水路整備工事を事前に整備する。		
(単位:千円)	【事業の成果】		
当初予算額	228,893	流域排水路整備工事	63,220千円
補正予算額	0	流域排水路整備工事測量設計業務	3,274千円
予算流・充用額	0	工事に伴う工損調査	1,890千円
最終予算額	228,893	工事に伴う補償	8,293千円
本年度決算額	76,677	【今後の課題・方向性】	事業の早期完了を図る。
区分	決算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	71,700	
	その他	0	
	一般財源	4,977	
	計	76,677	
(参考)	前年度決算額	0	評価結果
			早期事業完了を目指して、継続して事業を進める必要がある。

都043	項目名	地域緑化推進事業費		
主要な施策	地域緑化推進事業費	ページ	39	所 属 名
年度	H24	都市整備部 都市環境課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】都市緑化フェア係 0857-25-3511			
款 土木費	【9次総の施策体系】4102			
項 都市計画費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P216（都034）			
目 都市計画総務費	【事業の概要】 都市再整備計画（文化交流拠点地区）の区域内で、ガーデニング楽校（ガーデニング講習及び緑化ワークショップ）の開催などの啓発活動とともに、生垣等の緑化支援を行う。			
(単位:千円)	【事業の成果】 まちなかガーデニング楽校運営業務 753千円			
当初予算額	1,500	【今後の課題・方向性】 平成24年で、社会資本整備総合交付金事業の実施期間終了。		
補正予算額	△446			
予算流・充用額	0			
最終予算額	1,054	【参考】		
本年度決算額	753	評価結果 廃止する。		
区分	決算額	評価結果		
財源内訳	国・県支出金 338	評価結果		
	地方債 0	評価結果		
	その他 0	評価結果		
	一般財源 415	評価結果		
	計 753	評価結果		
前年度決算額	0	評価結果		

都044	項目名	全国都市緑化フェア開催事業費		
主要な施策	全国都市緑化フェア開催事業費	ページ	39	所 属 名
年度	H24	都市整備部 都市環境課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】都市緑化フェア係 0857-25-3511			
款 土木費	【9次総の施策体系】4102			
項 都市計画費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P217（都035）			
目 都市公園整備費	【事業の概要】 「全国都市緑化フェア」は、都市緑化意識の高揚と知識の普及等を図ることにより、緑豊かな潤いのある都市づくりに寄与することを目的として、昭和58年から毎年開催されている花と緑の祭典であり、平成25年度に本市で開催することを県と市で合意した。全国都市緑化フェア開催を円滑に進めるため、平成23年度に基本構想を策定し、国土交通大臣の開催同意を得た。平成23年度に実行委員会を設立し、実施計画に基づき、とっとりフェア開催の準備を進める。			
(単位:千円)	【事業の成果】 全国都市緑化とっとりフェア実行委員会負担金 223,137千円			
当初予算額	223,137	過年度決算額 (21)0千円 (22)0千円 (23)35,000千円		
補正予算額	0	【今後の課題・方向性】 都市緑化フェアの開催に向け、ますますの開催機運の醸成を図る。 都市緑化フェアの開催を契機として緑化産業の振興や緑化技術の向上を図る。 開催後も市民による自発的な緑化活動の継続を図る。		
予算流・充用額	0			
最終予算額	223,137	【参考】		
本年度決算額	223,137	評価結果 全国都市緑化フェア開催に向け、実施計画に基づき事業の進捗を図る。		
区分	決算額	評価結果		
財源内訳	国・県支出金 0	評価結果		
	地方債 0	評価結果		
	その他 85,684	評価結果		
	一般財源 137,453	評価結果		
	計 223,137	評価結果		
前年度決算額	35,000	評価結果		

都045	項目名	花と緑のフェア開催補助金		
主要な施策	花と緑のフェア開催補助金	ページ	39	所 属 名
年度	H24	都市整備部 都市環境課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】都市緑化フェア係 0857-25-3511			
款 土木費	【9次総の施策体系】4102			
項 都市計画費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P217（都036）			
目 都市公園整備費	【事業の概要】 市民の都市緑化意識の高揚に資するため、鳥取県東部において開催される花と緑のフェアの開催経費を、東部地区実行委員会へ補助する。			
(単位:千円)	【事業の成果】 花と緑のフェア開催補助金 350千円 開催場所 湖山池公園休養ゾーン（金沢地区） 開催期間 10月12日～14日			
当初予算額 450	過年度決算額 (21)350千円 (22)350千円 (23)350千円			
補正予算額 △100	【今後の課題・方向性】 全国都市緑化フェアの開催にあわせ、事業内容の充実を図り、更なる都市緑化意識の啓発を図る。			
予算流・充用額 0	【参考】			
最終予算額 350	評価結果	平成25年度は全国都市緑化フェア開催100日前にあわせ内容を充実させる。また、今後は全国都市緑化フェア開催を契機に更なる緑化意識の啓発を図る。		
本年度決算額 350	評価結果	平成25年度は全国都市緑化フェア開催100日前にあわせ内容を充実させる。また、今後は全国都市緑化フェア開催を契機に更なる緑化意識の啓発を図る。		
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金 0			
	地方債 0			
	その他 0			
	一般財源 350			
	計 350			
前年度決算額 350	評価結果	平成25年度は全国都市緑化フェア開催100日前にあわせ内容を充実させる。また、今後は全国都市緑化フェア開催を契機に更なる緑化意識の啓発を図る。		

都046	項目名	公園整備事業費		
主要な施策	公園整備費	ページ	39	所 属 名
年度	H24	都市整備部 都市環境課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】公園係 0857-20-3273			
款 土木費	【9次総の施策体系】4102			
項 都市計画費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P218（都037）、6月補正予算・P23（都006） 9月補正予算・P44（都014）、12月補正予算・P27（都003）			
目 都市公園整備費	【事業の概要】 社会資本整備総合交付金を活用し、近隣公園及び街区公園の整備を推進する。 合併特例債を活用し、白兔周辺整備事業・白兔展望広場（気多ノ前展望広場）の整備を推進する。			
(単位:千円)	【事業の成果】 千代水ほか公園整備工事 18,989千円 白兔展望広場整備工事 20,988千円 白兔展望広場整備工事測量設計業務 1,785千円 白兔周辺整備事業に伴う用地取得 129,000千円 事務費等 500千円			
当初予算額 154,500	過年度決算額 (21)151,614千円 (22)50,655千円 (23)0千円			
補正予算額 17,104	【今後の課題・方向性】 施設の適正な管理が必要。			
予算流・充用額 0	【参考】			
最終予算額 171,604	評価結果	施設の適正な管理が必要である。		
本年度決算額 171,262	評価結果	施設の適正な管理が必要である。		
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金 9,495			
	地方債 153,100			
	その他 0			
	一般財源 8,667			
	計 171,262			
前年度決算額 0	評価結果	施設の適正な管理が必要である。		

都047	項目名	湖山池公園整備事業費	
主要な施策	湖山池公園整備事業費	ページ	39
年度	H24	所 属 名 都市整備部 都市環境課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】都市緑化フェア係 0857-25-3511		
款 土木費	【9次総の施策体系】4102		
項 都市計画費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P218（都038）		
目 都市公園整備費	【事業の概要】 社会資本整備総合交付金を活用し、H25年度全国都市緑化とっとりフェア開催準備と併せ、主会場となる湖山池公園の整備を推進する。		
(単位:千円)	【事業の成果】		
当初予算額	304,000	湖山池公園整備工事等	142,612千円
補正予算額	△544	湖山池公園整備工事等測量設計業務等	22,509千円
予算流・充用額	0	集落排水加入負担金	5,114千円
最終予算額	303,456	事務費等	2,329千円
本年度決算額	172,564	【今後の課題・方向性】 平成25年度全国都市緑化とっとりフェア開催準備と併せ、引き続き主会場となる湖山池の整備を推進する。	
区分	決算額	【参考】	
財源内訳	国・県支出金	82,560	評価結果
	地方債	80,300	平成25年度の全国都市緑化フェアの開催に伴い、主会場である湖山池公園の整備について、適切な進捗管理を行う。
	その他	0	
	一般財源	9,704	
	計	172,564	
前年度決算額	0		

都048	項目名	都市公園管理費	
主要な施策	公園管理費	ページ	39
年度	H24	所 属 名 都市整備部 都市環境課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】公園係 0857-20-3273		
款 土木費	【9次総の施策体系】4102		
項 都市計画費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P219（都039）		
目 公園管理費	【事業の概要】 都市公園等の維持管理業務を適正・迅速に行う事により、安全・安心な憩いの場を市民に提供する。指定管理者制度を導入し、指定管理者の創意工夫に基づき民間的な要素を取り入れた質の高い住民サービスを提供し、経費節減、業務の効率化を図る。また、禰公園はホテルの鑑賞に大勢の方が訪れるため、周辺住民の生活環境に配慮するとともに、鑑賞しやすい環境を整えることで公園の利用促進を図る。		
(単位:千円)	【事業の成果】		
当初予算額	118,297	都市公園等指定管理料	102,858千円
補正予算額	△293	千代川倉田緑地指定管理料	4,769千円
予算流・充用額	2	西町緑地等指定管理料	2,050千円
最終予算額	118,006	公共空地維持管理業務	5,956千円
本年度決算額	117,964	禰公園ホテル観賞交通誘導業務	573千円
区分	決算額	禰公園土地借上料	1,713千円
財源内訳	国・県支出金	0	事務費等
	地方債	0	45千円
	その他	3,111	過年度決算額
	一般財源	114,853	(21)108,625千円 (22)111,150千円 (23)116,937千円
	計	117,964	【今後の課題・方向性】 市民に対して安全・安心な憩いの広場を提供し、公園の利用促進を図る。
前年度決算額	116,937	【参考】	
		評価結果	公園の安全・安心な憩いの場としての利用促進において維持管理は必要である。

都049	項目名	公園維持管理工事費		
主要な施策	公園維持補修費	ページ	39	所 属 名
年度	H24	都市整備部 都市環境課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】公園係 0857-20-3273			
款 土木費	【9次総の施策体系】4102			
項 都市計画費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 6月補正予算・P24（都007）、9月補正予算・P45（都015）			
目 公園管理費	【事業の概要】 交付金事業要件に満たない軽微な工事の実施。 単市事業による、公園維持補修工事の実施。 単市事業による、緊急工事及び修繕の実施。			
(単位:千円)	【事業の成果】			
当初予算額	12,348	行徳緑地園路整備工事等 9,659千円		
補正予算額	2,235	鹿野城跡公園黒松撤去業務 735千円		
予算流・充用額	0	工事に伴う補償 1,086千円		
最終予算額	14,583	都市公園・公共空地・河川公園修繕 2,497千円		
本年度決算額	13,977	過年度決算額 (21) 12,123千円 (22) 5,730千円 (23) 525千円		
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 市民に対してより安全・安心な空間を提供するため、老朽化した施設等を計画的に修繕し、適正な維持管理を行う。		
財源内訳	国・県支出金 0	【参考】		
地方債 0	その他 0	前年度決算額 525		
一般財源 13,977	計 13,977	評価結果		
計 13,977	その他 0	市民及び公園利用者に対して、安心して憩える場を提供するため、施設整備を継続する。		

都050	項目名	公園芝生化推進事業費		
主要な施策	芝生化推進事業費	ページ	39	所 属 名
年度	H24	都市整備部 都市環境課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】公園係 0857-20-3273			
款 土木費	【9次総の施策体系】4102			
項 都市計画費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P219（都040）			
目 公園管理費	【事業の概要】 社会資本整備総合交付金を活用し、既存公園及び公共空地等の芝生化を推進する。			
(単位:千円)	【事業の成果】			
当初予算額	11,939	協働による芝生化業務 6,497千円		
補正予算額	△1,614	乗用及び自走式芝刈機等購入 3,208千円		
予算流・充用額	0	地域コミュニティ育成支援事業交付金 400千円		
最終予算額	10,325	事務費等 37千円		
本年度決算額	10,142	過年度決算額 (21) 2,050千円 (22) 6,117千円 (23) 2,306千円		
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 地域住民等と協働して、芝苗（ポット苗）の植付・水やり・芝刈りなどの維持管理までを行なう。		
財源内訳	国・県支出金 3,913	【参考】		
地方債 0	その他 0	前年度決算額 2,306		
一般財源 6,229	計 10,142	評価結果		
計 10,142	その他 0	鳥取市の特色ある施策として公園の芝生化をより一層進めていく必要がある。		

都051	項目名	ディスカバー湖山池推進事業費		
主要な施策	ディスカバー湖山池推進事業費	ページ	39	所 属 名
年度	H24	都市整備部 都市環境課		
事業の概要	<p>【問合せ先】都市緑化フェア係 0857-25-3511</p> <p>【9次総の施策体系】 4102</p> <p>【予算計上の経過】            予算事業別概要目次            9月補正予算・P45（都016）、12月補正予算・P27（都004）</p> <p>【事業の概要】            湖山池に関する情報発信の拠点づくり事業を実施し、きれいになった湖山池を市内外に広くPRする。</p> <p>【事業の成果】            湖山池マスコットキャラクター（こいけちゃん）作成業務等 1,183千円            こいけちゃんPRグッズ作成 120千円            湖山池シーズンウォーク実施補助金 800千円            イベントテント購入 124千円            事務費等 60千円</p> <p>【今後の課題・方向性】            平成25年秋には湖山池公園を主会場として全国都市緑化とっとりフェアが開催され、湖山池を市内外に打ち出す好機を迎えている。きれいになった湖山池を市内外に広くPRすることことで、市民や観光客に再発見してもらい、湖山池を鳥取砂丘と並ぶ魅力スポットとする。</p>			
会計名	一般会計			
款	土木費			
項	都市計画費			
目	公園管理費			
(単位:千円)				
当初予算額	0			
補正予算額	2,127			
予算流・充用額	196			
最終予算額	2,323			
本年度決算額	2,287			
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	242		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	2,045		
	計	2,287		
参考)	評価結果	継続して湖山池のPRを推進する必要がある。		
前年度決算額	0			

都052	項目名	街路灯設置費		
主要な施策	街路灯設置費	ページ	24	所 属 名
年度	H24	都市整備部 道路課		
事業の概要	<p>【問合せ先】管理係 0857-20-3261</p> <p>【9次総の施策体系】 3302</p> <p>【予算計上の経過】            予算事業別概要目次            当初予算・P220（都042）</p> <p>【事業の概要】            防犯灯の設置により、夜間通行における踏み外し等の事故防止と、暗がり箇所を減少させ、心理的な安心感をもたらすことで、犯罪予防効果の増大を図る。さらに、防犯灯をLED化し、CO2排出量の削減と電気代等の節減により環境にやさしく維持管理の容易な照明を普及し、夜間の安全な通行を確保する。</p> <p>【事業の成果】            ・新規設置            平成22年度 180基            平成23年度 165基            平成24年度 178基</p> <p>【今後の課題・方向性】            設置要望数が多いため複数年かけて設置しており、要望のある限り継続して実施していく。しかし、費用負担を過度に増大させないため、設置にあたり判断基準を設ける必要がある。</p>			
会計名	一般会計			
款	総務費			
項	総務管理費			
目	諸費			
(単位:千円)				
当初予算額	10,000			
補正予算額	4,000			
予算流・充用額	0			
最終予算額	14,000			
本年度決算額	12,347			
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	6,791		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	5,556		
	計	12,347		
参考)	評価結果	市民の安全で安心して生活できる環境の整備は行政の責務である。整備コストは行政負担だが、維持管理費用は町内会等自主負担の現制度下での事業推進は地域の自立性を高め、かつ防災意識の向上が期待される。年々治安に対する心配が広がるなかで、安全を確保するまちづくりの一環である本事業は継続して実施していく必要がある。		
前年度決算額	12,006			

都053	項目名	道路管理費																					
主要な施策	道路管理費	ページ	38																				
年度	H24	所 属 名 都市整備部 道路課																					
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】管理係 0857-20-3261																						
款 土木費	【9次総の施策体系】4201																						
項 道路橋梁費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P221（都043）、9月補正予算・P46（都017）																						
目 道路維持費	【事業の概要】 管理すべき市道延長の増加、道路施設の増加、老朽化により一定規模の管理が必要である。 道路及び道路施設等の損傷個所の修繕対応、市道沿線の除草、植栽の剪定管理、防犯灯、街路灯の修繕、側溝の浚渫等の業務を実施し安全な道路環境をめざす。																						
(単位:千円)	【事業の成果】 緊急業務、備品購入のための補正																						
当初予算額	87,554	【今後の課題・方向性】 道路施設の増加及び老朽化により修繕費が増加している。 質を低下させることなくコストを抑える方策を検討することが必要である。																					
補正予算額	10,879																						
予算流・充用額	1,076																						
最終予算額	99,509	【評価結果】 管理すべき道路施設の増加により光熱水費、延長の増加による除草等の維持管理経費、施設の老朽化による修繕費というものが増加している。質を低下させることなくコストを抑える方策を検討することが必要と考える。																					
本年度決算額	98,900	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">其他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>2,270</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		其他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	2,270	その他	0
其他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収入	2,270																						
その他	0																						
区分	決算額																						
財源内訳	国・県支出金	0																					
	地方債	0																					
	その他	2,270																					
	一般財源	96,630																					
	計	98,900																					
(参考)	前年度決算額	90,897																					

都054	項目名	一般道補修費																					
主要な施策	一般道補修費	ページ	38																				
年度	H24	所 属 名 都市整備部 道路課																					
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】管理係 0857-20-3261																						
款 土木費	【9次総の施策体系】4201																						
項 道路橋梁費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P221（都044）																						
目 道路維持費	【事業の概要】 道路の損傷箇所の補修並びに地域からの要望による道路改良を行い、通行者の安全を確保すべく道路施設を維持する。																						
(単位:千円)	【事業の成果】 路面損傷等による事故発生の可能性がある箇所を緊急に補修対応するため、緊急修繕業務を年度当初に発注するとともに、地区要望（側溝改良、歩道改良、法面補修など）による道路の維持補修を実施する。																						
当初予算額	178,097	【今後の課題・方向性】 市道に関する要望・苦情が多様化しており、適切かつ柔軟な対応が求められている。また、件数も膨大であり、その処理が急がれる。																					
補正予算額	△ 3,559																						
予算流・充用額	3,138																						
最終予算額	177,676	【評価結果】 市道に関する要望・苦情が多様化しており、適切かつ柔軟な対応が求められている。また、件数も膨大であり、その処理が急がれる。																					
本年度決算額	174,669	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">其他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>39,726</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		其他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	39,726	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
其他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	39,726																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収入	0																						
その他	0																						
区分	決算額																						
財源内訳	国・県支出金	0																					
	地方債	0																					
	その他	39,726																					
	一般財源	134,943																					
	計	174,669																					
(参考)	前年度決算額	171,051																					

都055	項目名	除雪費	
主要な施策	除雪関係費	ページ	38
年度	H24	所 属 名 都市整備部 道路課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】管理係 0857-20-3261		
款 土木費	【9次総の施策体系】4201		
項 道路橋梁費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P222（都045）、9月補正予算・P46（都018）		
目 道路維持費	【事業の概要】 幹線、バス路線を主とした市道の除雪を行い円滑な交通を確保する。		
(単位:千円)	【事業の成果】 事業費 平成21年度 161,837千円 平成22年度 242,451千円 平成23年度 306,610千円 平成24年度 132,397千円		
当初予算額	52,544	【今後の課題・方向性】 市民からの除雪路線の拡充要望は多い。 一方、コスト削減のため、機械を手放し除雪業務委託を断る会社が増加しており、現在の除雪延長を維持するため、除雪業者の確保が課題である。 このような現状を解決するために、リース業者の活用、除雪車輛の整備、貸し出し用排雪装置（ブラウ）の整備等を進める。	
補正予算額	161,366		
予算流・充用額	△4,011		
最終予算額	209,899	【評価結果】 市民からの除雪路線の拡充要望は多い。しかしながら、コスト削減のため機械を手放し除雪業務委託を断る会社が増加しており、現在の除雪延長を維持するため、除雪業者の確保が課題となっている。このような現状を解決するために、リース業者の活用、除雪車輛の整備、貸し出し用排雪装置（ブラウ）の整備等を進める。	
本年度決算額	132,397	その他財源の内訳	
区分	決算額	分担金	0
財源内訳		負担金	0
国・県支出金	20,433	使用料	0
地方債	16,200	手数料	0
その他	0	財産収入	0
一般財源	95,764	寄付金	0
計	132,397	繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
(参考)			
前年度決算額	306,610		

都056	項目名	道路舗装新設工事費	
主要な施策	道路舗装新設費	ページ	38
年度	H24	所 属 名 都市整備部 道路課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】維持第1係、維持第2係 0857-20-3262、20-3263		
款 土木費	【9次総の施策体系】4201		
項 道路橋梁費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P222（都046）		
目 道路新設改良費	【事業の概要】 道路占用による舗装復旧部分が多数ある路線は、車両の通行による振動、騒音の問題が発生する機会が多いため要望あるいはパトロール等で損傷が進んでいる路線を確認し、順次修繕を行う必要がある。 平成21～22年度に路面の危険度調査を実施し、調査結果より舗装修繕の基本方針を決定する。		
(単位:千円)	【事業の成果】 道路の沈下（段差、わだち等）、クラック等の発生した路線の全面舗装改修（舗装打ちなおし、切削、オーバーレイなど）を実施する。		
当初予算額	67,994	【今後の課題・方向性】 舗装修繕の基本方針に基づき修繕計画を策定し年次的に工事を実施していく。	
補正予算額	△2,011		
予算流・充用額	0		
最終予算額	65,983	【評価結果】 道路環境の改善を図るため、迅速かつ適切な舗装新設を行う必要がある。路面状態の適切な把握に努め、計画的に実施していく。	
本年度決算額	65,556	その他財源の内訳	
区分	決算額	分担金	0
財源内訳		負担金	0
国・県支出金	0	使用料	0
地方債	0	手数料	0
その他	0	財産収入	0
一般財源	65,556	寄付金	0
計	65,556	繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
(参考)			
前年度決算額	83,144		

都057	項目名	地方道路整備交付金事業費		
主要な施策	地方道路整備交付金事業費	ページ	38	所 属 名
年度	H24	都市整備部 道路課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】維持第1係、維持第2係、新設改良係 0857-20-3262、20-3263、20-3254			
款 土木費	【9次総の施策体系】3301			
項 道路橋梁費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P223（都047）、9月補正予算・P47（都019）			
目 道路新設改良費	【事業の概要】 社会資本整備総合交付金による市道整備を推進し、市民生活の利便性の向上を図る。			
(単位:千円)	【事業の成果】			
当初予算額	943,000	(1) 社会資本整備総合交付金（交付率55%） 河原インター山手幹線ほか18路線		
補正予算額	△91,530	(2) 社会資本整備総合交付金（交付率45%） 駅前太平線高質空間整備		
予算流・充用額	7,702	(3) 道整備交付金（交付率50%） 美敷線		
最終予算額	859,172	【今後の課題・方向性】 交付金等を活用し道路整備を推進する。		
本年度決算額	351,741	その他の課題・方向性		
区分	決算額	評価結果		
財源内訳	国・県支出金 76,111	維持管理を行う市道の延長および道路施設の増加等に加え、市民の意見を聴く窓口の充実により、市民ニーズは多様化し、地区要望の件数は年々増加している。社会資本総合交付金の効率的に活用するとともに、道路の状態の的確な把握に努め、危険が予想される箇所などの優先順位付け、年次計画的に実施していく。		
	地方債 262,000			
	その他 0			
	一般財源 13,630			
	計 351,741			
(参考)	前年度決算額	283,471		

都058	項目名	道路改修事業工事費		
主要な施策	道路改修事業費	ページ	38	所 属 名
年度	H24	都市整備部 道路課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】維持第1係、維持第2係 0857-20-3262、20-3263			
款 土木費	【9次総の施策体系】4201			
項 道路橋梁費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P223（都048）、9月補正予算・P47（都020）、 12月補正予算・P28（都005）			
目 道路新設改良費	【事業の概要】 小規模な道路や側溝等の改修を行い、道路敷地の有効活用を図るとともに通行者の安全を確保する。			
(単位:千円)	【事業の成果】 地区要望等で、小規模な道路改修について緊急性の高いものから実施する。			
当初予算額	60,300	【今後の課題・方向性】 道路環境の改善や道路交通の安全を図るため、迅速かつ適切な修繕を行う必要がある。地域からの要望は多岐にわたり、その解消には適切な順位付けを行い計画的に実施していく。		
補正予算額	21,221			
予算流・充用額	△7,701			
最終予算額	73,820			
本年度決算額	63,374			
区分	決算額	評価結果		
財源内訳	国・県支出金 0	道路環境の改善や道路交通の安全を図るため、迅速かつ適切な修繕を行う必要がある。地域からの要望は多岐にわたり、その解消には適切な順位付けを行い計画的に実施していく。		
	地方債 0			
	その他 0			
	一般財源 63,374			
	計 63,374			
(参考)	前年度決算額	59,584		

都059	項目名	交通安全施設事業工事費
------	-----	-------------

主要な施策	交通安全施設事業費	ページ	38
-------	-----------	-----	----

所 属 名	都市整備部 道路課
-------	--------------

年度	H24
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	土木費
項	道路橋梁費
目	交通安全施設事業費

(単位:千円)	当初予算額	28,278
---------	-------	--------

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	28,278
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収金	0
その他	0

本年度決算額	28,009
--------	--------

区 分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	28,009
計	28,009

【問合せ先】維持第1係、維持第2係 0857-20-3262、3263

【9次総の施策体系】3302

【予算計上の経過】  
予算事業別概要目次  
当初予算・P224（都049）

【事業の概要】  
自動車、自転車、歩行者等の円滑かつ安全な通行を確保するため、交通安全施設（カーブミラー、ガードレール、反射ポール、路面表示等）の設置、修繕、歩道の改良を行う。

【事業の成果】  
歩道の改良、区画線等路面表示の施工、ガードレール、誘導ブロック、カーブミラー、反射ポール（デリニエーター）等の交通安全施設の設置修繕。

【今後の課題・方向性】  
道路の交通安全施設の整備は、通行者の安全向上につながるものである。  
本事業においては、カーブミラー、反射鏡の設置等の住民あるいは地区からの要望が多く、要望場所を比較検討した上で年次的に継続して整備していく。  
また、現在は、事故が発生した際の道路瑕疵、道路管理者の責任が問われるようになっており、交通安全施設の整備の重要性はますます増大していくものと予想する。

(参考)	前年度決算額	33,274
------	--------	--------

評価結果	道路の交通安全施設の整備は、通行者の安全向上につながるものである。本事業においては、カーブミラー、反射鏡の設置等の住民あるいは地区からの要望が多く、要望場所を比較検討した上で計画的に実施していく。また現在は、事故が発生した際の道路瑕疵、道路管理者の責任が問われるようになっており、交通安全施設の整備の重要性はますます増大していくものと予想する。
------	--

都060	項目名	橋梁維持補修費
------	-----	---------

主要な施策	橋梁維持補修費	ページ	38
-------	---------	-----	----

所 属 名	都市整備部 道路課
-------	--------------

年度	H24
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	土木費
項	道路橋梁費
目	橋梁維持費

(単位:千円)	当初予算額	91,000
---------	-------	--------

補正予算額	10,746
-------	--------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	101,746
-------	---------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収金	0
その他	0

本年度決算額	55,046
--------	--------

区 分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	44,131
地方債	10,300
その他	0
一般財源	615
計	55,046

【問合せ先】維持第1係、維持第2係 0857-20-3262、20-3263

【9次総の施策体系】4201

【予算計上の経過】  
予算事業別概要目次  
当初予算・P224（都050）

【事業の概要】  
鳥取市が管理する橋梁の多くは1960年代から80年代にかけての高度経済成長期のおよそ30年間に建設されたものが多く、今後施設が老朽化すると一斉に更新時期を迎える。これらの修繕を実施していくには、かなりの経費が必要となるため、危険度調査の結果をもとにH19に策定した「鳥取市道路施設修繕計画」をもとに国の交付金等を活用し修繕を行い、施設の延命化と費用の平準化を図る。

【事業の成果】  
社会資本整備総合交付金（交付金事業）を活用し、橋梁の長寿命化修繕計画の策定、橋梁の補修、橋梁舗装の打換え等を実施する。  
岩吉陸橋線 岩吉陸橋（交付金）、湖山賀露線 賀露陸橋（交付金）  
長寿命化修繕計画の策定（交付金）  
その他単独事業

【今後の課題・方向性】  
架橋から年数が経過している橋梁の中には、橋梁の架け替えに多額の経費が必要となるため、危険度調査の結果を基に計画的に補修工事を行うことで施設の延命化を図り、費用の平準化を図るとともに大規模な改修が必要なものについては交付金制度を活用して当市の負担を抑えていくことが必要である。

(参考)	前年度決算額	65,900
------	--------	--------

評価結果	平成18年度に調査を行い、設置から年数が経ち、老朽化、主要構造部の傷みが発生している等、早急に対応や詳細調査の必要があることが確認されている。所管する橋梁数が多いため、一時に対応することは困難であることから、軽微な修繕等により延命化が可能なものについては延命化を図り、可能な限り事業費の平準化を図るよう計画的に事業を実施していく。
------	---

都061	項目名	街路交付金事業費	
主要な施策	街路事業費	ページ	39
年度	H24	所 属 名 都市整備部 道路課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】新設改良係 0857-20-3254		
款 土木費	【9次総の施策体系】4201		
項 都市計画費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P225（都051）、6月補正予算・P24（都008）		
目 街路事業費	【事業の概要】 雲山吉成線の位置する地区は鳥取駅の南側に位置する比較的新しい住宅地と一部古い住宅地が混在する住宅地である。現在、当地区の南北を2本の国道（29号線・53号線）が走っているが、当地区と国道へ至る道路の整備が遅れており、通勤・通学に支障をきたしており、早急の道路整備が求められている。		
(単位:千円)	【事業の成果】		
当初予算額	38,000	(1) 全体 事業延長 L=825m 事業年度 H12年度～H25年度 総事業費 2,380,000千円	
補正予算額	3,000	(2) 平成19年度 101,800千円 平成20年度 0千円 平成21年度 14,000千円 平成22年度 39,400千円 平成23年度 5,200千円 平成24年度 54,255千円	
予算流・充用額	0	【今後の課題・方向性】 国の交付金を活用し計画的に事業を実施する必要がある。	
最終予算額	41,000	【参考】	
本年度決算額	33,555	前年度決算額	
区分	決算額	評価結果	継続して実施し事業完了を図る。
財源内訳			
国・県支出金	18,455	分担金	0
地方債	14,300	負担金	0
その他	0	使用料	0
一般財源	800	手数料	0
計	33,555	財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収金	0
		その他	0

都062	項目名	過年発生災害復旧費	
主要な施策	過年発生災害復旧費	ページ	46
年度	H24	所 属 名 都市整備部 道路課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】維持第一係 0857-20-3262		
款 災害復旧費	【9次総の施策体系】4201		
項 災害復旧費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 6月補正予算・P25（都009）		
目 公共土木災害復旧費	【事業の概要】 平成23年9月3日～4日の台風12号の最大24時間雨量80mmによって被災した箇所の速やかな復旧により、住民の安全性及び利便性を図る。		
(単位:千円)	【事業の成果】 過年発生災害復旧費 佐治用瀬線 災害復旧工事 復旧延長 L=49.1m		
当初予算額	0	【今後の課題・方向性】 台風、大雨等により被災した道路災害の迅速な復旧を図り、住民生活への影響を最低限に抑える。	
補正予算額	29,400	【参考】	
予算流・充用額	0	前年度決算額	
最終予算額	29,400	評価結果	被災した箇所の速やかな復旧を行い、住民の安全性及び利便性を図る。
本年度決算額	25,490		
区分	決算額		
財源内訳			
国・県支出金	17,002	分担金	0
地方債	7,600	負担金	0
その他	0	使用料	0
一般財源	888	手数料	0
計	25,490	財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収金	0
		その他	0

都063	項目名	補助災害復旧費	
主要な施策	現年発生災害復旧費	ページ	46
年度	H24	所 属 名 都市整備部 道路課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】維持第一係 0857-20-3262		
款 災害復旧費	【9次総の施策体系】4201		
項 災害復旧費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 12月補正予算・P29（都007）		
目 公共土木災害復旧費	【事業の概要】 平成24年9月18日～19日の豪雨の最大24時間雨量80mmによって被災した箇所の速やかな復旧により、住民の安全性及び利便性を図る。		
(単位:千円)	【事業の成果】 現年発生災害復旧費 岩倉開拓線 災害復旧工事に伴う測量設計 L=14.0m		
当初予算額	0	【今後の課題・方向性】 台風、大雨等により被災した道路災害の迅速な復旧を図り、住民生活への影響を最低限に抑える。	
補正予算額	4,500		
予算流・充用額	0		
最終予算額	4,500	【今後の課題・方向性】 台風、大雨等により被災した道路災害の迅速な復旧を図り、住民生活への影響を最低限に抑える。	
本年度決算額	859	【今後の課題・方向性】 台風、大雨等により被災した道路災害の迅速な復旧を図り、住民生活への影響を最低限に抑える。	
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 台風、大雨等により被災した道路災害の迅速な復旧を図り、住民生活への影響を最低限に抑える。	
財源内訳		【今後の課題・方向性】 台風、大雨等により被災した道路災害の迅速な復旧を図り、住民生活への影響を最低限に抑える。	
国・県支出金	0	【今後の課題・方向性】 台風、大雨等により被災した道路災害の迅速な復旧を図り、住民生活への影響を最低限に抑える。	
地方債	0	【今後の課題・方向性】 台風、大雨等により被災した道路災害の迅速な復旧を図り、住民生活への影響を最低限に抑える。	
その他	0	【今後の課題・方向性】 台風、大雨等により被災した道路災害の迅速な復旧を図り、住民生活への影響を最低限に抑える。	
一般財源	859	【今後の課題・方向性】 台風、大雨等により被災した道路災害の迅速な復旧を図り、住民生活への影響を最低限に抑える。	
計	859	【今後の課題・方向性】 台風、大雨等により被災した道路災害の迅速な復旧を図り、住民生活への影響を最低限に抑える。	
(参考)		【今後の課題・方向性】 台風、大雨等により被災した道路災害の迅速な復旧を図り、住民生活への影響を最低限に抑える。	
前年度決算額	97,691	【今後の課題・方向性】 台風、大雨等により被災した道路災害の迅速な復旧を図り、住民生活への影響を最低限に抑える。	
評価結果	被災した箇所の速やかな復旧を行い、住民の安全性及び利便性を図る。		

都064	項目名	福祉のまちづくり推進事業費	
主要な施策	福祉のまちづくり推進事業費	ページ	38
年度	H24	所 属 名 都市整備部 建築指導課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】審査係 0857-20-3281		
款 土木費	【9次総の施策体系】4201		
項 土木管理費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P225（都052）		
目 建築指導費	【事業の概要】 ①対象建築物 バリアフリー法、及び鳥取県福祉のまちづくり条例による特定建築物。 ②補助対象経費 既存建築物のトイレ改造、オストメイト設置、玄関等の改修、エレベーターの設置に係る費用に対して限度額の範囲内で1/2を補助。		
(単位:千円)	【事業の成果】 高齢者、身障者が生きがいをもちながら生活できる社会の実現。		
当初予算額	5,000	【今後の課題・方向性】 国の交付金、県の補助金の継続と市予算の確保、所有者への継続指導。	
補正予算額	0		
予算流・充用額	0		
最終予算額	5,000	【今後の課題・方向性】 国の交付金、県の補助金の継続と市予算の確保、所有者への継続指導。	
本年度決算額	4,680	【今後の課題・方向性】 国の交付金、県の補助金の継続と市予算の確保、所有者への継続指導。	
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 国の交付金、県の補助金の継続と市予算の確保、所有者への継続指導。	
財源内訳		【今後の課題・方向性】 国の交付金、県の補助金の継続と市予算の確保、所有者への継続指導。	
国・県支出金	3,510	【今後の課題・方向性】 国の交付金、県の補助金の継続と市予算の確保、所有者への継続指導。	
地方債	0	【今後の課題・方向性】 国の交付金、県の補助金の継続と市予算の確保、所有者への継続指導。	
その他	0	【今後の課題・方向性】 国の交付金、県の補助金の継続と市予算の確保、所有者への継続指導。	
一般財源	1,170	【今後の課題・方向性】 国の交付金、県の補助金の継続と市予算の確保、所有者への継続指導。	
計	4,680	【今後の課題・方向性】 国の交付金、県の補助金の継続と市予算の確保、所有者への継続指導。	
(参考)		【今後の課題・方向性】 国の交付金、県の補助金の継続と市予算の確保、所有者への継続指導。	
前年度決算額	0	【今後の課題・方向性】 国の交付金、県の補助金の継続と市予算の確保、所有者への継続指導。	
評価結果	高齢者、身障者の生きがいをもちながら生活できる社会の実現のために継続的に事業を行うとともに、建物所有者へ補助制度を活用して施設整備の促進を図る。		

都065	項目名	がけ地近接等危険住宅移転事業費	
主要な施策	がけ地近接等危険住宅移転事業費	ページ	38
年度	H24	所 属 名 都市整備部 建築指導課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 建築指導係 0857-20-3282		
款 土木費	【9次総の施策体系】 3301		
項 土木管理費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P226（都053）		
目 建築指導費	【事業の概要】		
(単位:千円)	①対象建築物 急傾斜地崩壊対策事業の計画のない区域等にあるがけ地に近接している建物		
当初予算額	7,860	②補助対象経費 住宅の除却、土地・建物の購入、土地の造成	
補正予算額	△7,080	③補助金額（国：1/2、県1/4、市1/4） ア 除却費：住宅の撤去費及び移転等に要する費用を補助 一戸当たり補助限度額 780千円	
予算流・充用額	0	イ 建物助成費：がけ地にある住宅に代わる住宅の建設又は購入（これに必要な土地の購入を含む）のため、金融機関等から融資を受けた場合、借入金の利子相当額（利率は8.5%を限度）を次を限度として補助 ○一般地域の場合 一戸当たり：4,060千円 ○特殊土壌地帯指定区域、又は保全人家10戸未満の急傾斜地崩壊危険区域 一戸当たり：7,080千円	
最終予算額	780	【事業の成果】 市民の生命の安全性を確保。 平成23年 1件 平成24年 1件（平成23年継続分）	
本年度決算額	780	【今後の課題・方向性】 国の交付金、県の補助金の継続と市の予算の確保。所有者に対する継続指導。	
区分	決算額	【参考】	
財源内訳	国・県支出金 585	評価結果	
	地方債 0	がけ崩れ、土石流、地滑り等の危険から住民の生命の安全性を確保するために、建築基準法第39条の災害危険区域等の区域内にある住宅等から移転を行う者に対して引き続き補助制度の周知を図る。	
	その他 0		
	一般財源 195		
計	780		
前年度決算額	3,100		

都066	項目名	石綿改修支援事業費	
主要な施策	石綿改修支援事業費	ページ	38
年度	H24	所 属 名 都市整備部 建築指導課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 建築指導係 0857-20-3282		
款 土木費	【9次総の施策体系】 4201		
項 土木管理費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P226（都054）		
目 建築指導費	【事業の概要】		
(単位:千円)	◆アスベストの除去等の工事に対して助成事業を行う。		
当初予算額	7,834	①対象建築物：吹付けアスベスト又はアスベスト含有吹付けロックウールが施工された建築物（他の国の助成を受けていない建築物）	
補正予算額	△2,026	②対象工事：建物の除却（アスベスト対策費用を限度としてアスベストを使用している建築物の除却）	
予算流・充用額	0	・補助率 ①アスベスト工事費；国：1/3、県：3/12、市：1/12 ②アスベスト調査費；国：10/10	
最終予算額	5,808	【事業の成果】 市民の健康被害の防止及び生活環境の保全に寄与する。	
本年度決算額	5,554	・アスベスト含有調査 ・アスベスト除去 平成22年：8件 平成22年：3件 平成23年：3件 平成23年：4件 平成24年：2件 平成24年：3件	
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 国の交付金、県の補助金の継続と市予算の確保。所有者に対する継続指導。	
財源内訳	国・県支出金 4,888		
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 666		
計	5,554		
前年度決算額	5,893	評価結果 補助制度について、PRを行い、建物所有者への周知を図り、アスベスト除去の促進を図る。	

都067	項目名	住宅・建築物耐震診断・改修支援事業費	
主要な施策	住宅・建築物耐震診断・改修支援事業費	ページ	38
年度	H24	所 属 名 都市整備部 建築指導課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 建築指導係 0857-20-3282		
款 土木費	【9次総の施策体系】 3301		
項 土木管理費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P227（都055）、9月補正予算・P48（都021）		
目 建築指導費	【事業の概要】 ①助成対象者 昭和56年5月31日以前に建築された一戸建て住宅及びその建築物の所有者 ②事業内容 耐震診断：一戸建て住宅、一般建築物 補強設計：一戸建て住宅 耐震改修：一戸建て住宅		
(単位:千円)	【事業の成果】 耐震診断、補強設計、耐震改修を実施して市民の安全性の確保を行った。 耐震診断 補強設計 耐震改修 平成22年：32件 平成22年：10件 平成22年：8件 平成23年：76件 平成23年：11件 平成23年：3件 平成24年：44件 平成24年：32件 平成24年：5件		
当初予算額	14,486	【今後の課題・方向性】 耐震診断を実施して、建物の現状を把握することが必要不可欠である。 建物の耐震化に対する市民への啓発等を実施して耐震化事業を促進するためにも、耐震診断に係る予算を拡充する必要がある。	
補正予算額	2,187		
予算流・充用額	0		
最終予算額	16,673	【参考】	
本年度決算額	16,237	前年度決算額 14,712	
区分	決算額	評価結果 平成27年度までに耐震化率を90%とする目標を達成するためには、まず耐震診断を実施して建物の現状を把握することが必要不可欠である。 無料の耐震診断を広くPRし、耐震診断を促進していく。	
財源内訳			
国・県支出金	12,174		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	4,063		
計	16,237		

都068	項目名	定期借地権付土地分譲制度活用による地域活性化事業費	
主要な施策	財産管理費	ページ	23
年度	H24	所 属 名 都市整備部 建築住宅課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 住宅係 0857-20-3291		
款 総務費	【9次総の施策体系】 4201		
項 総務管理費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 9月補正予算・P048（都022）		
目 財産管理費	【事業の概要】 青谷町望町団地（鳥取県住宅供給公社）及び鹿野町湯川団地（鳥取市土地開発公社）所有分譲地の販売実績が低迷しており、こうした状況を好転させるべく、新しい分譲制度の「定期借地権付土地分譲」を導入する。 この制度により申込者（借地人）は保証金と土地賃料のみで土地を利用でき、土地を購入するよりも少ない資金で住宅を所有することが可能となるため、団地内の街なみの形成が促進され、地域の活性化につながる。		
(単位:千円)	【事業の成果】 分譲実績なし		
当初予算額	0	【今後の課題・方向性】 新しい分譲制度の「定期借地権付土地分譲」を両公社とともに広くPRし、分譲地の販売を促進する。	
補正予算額	16,170		
予算流・充用額	0		
最終予算額	16,170	【参考】	
本年度決算額	568	前年度決算額 0	
区分	決算額	評価結果 販売を促進するため、ターゲットを絞ったPRをする。	
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	568		
計	568		

都069	項目名	施設管理業務委託モデル事業費		
主要な施策	住宅維持補修費	ページ	39	所 属 名
年度	H24	都市整備部 建築住宅課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】住宅係 0857-20-3291 【9次総の施策体系】4201 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P228(都058)			
款	土木費	【事業の概要】 本市の市営住宅は、43団地で2,173戸、更には13団地245戸の県営住宅も代行管理している。市営住宅の運営に当っては、この住宅施設の管理業務が非常に多くなっており、必ずしも迅速な対応が出来ていないのが現状である。 そこで、市営住宅の施設管理業務を民間の賃貸住宅管理会社にモデル的に委託。 ①委託戸数(大森団地・湖山団地・田島団地・湯所団地) 約400戸 ②委託業務内容 ア、施設管理業務対応(緊急、一般、入居修繕) イ、法定点検等の義務がある施設の点検業務 ウ、害虫駆除・樹木剪定業務 エ、苦情相談対応業務 オ、定期的な巡回点検業務 カ、防火管理者に関する業務 キ、その他団地の状況に応じて特に定めるもの		
項	住宅費	【事業の成果】 民間の有するノウハウを活用する中で、住民サービスの向上を図った。		
目	住宅管理費	【今後の課題・方向性】 今回のモデル事業により、問題点や課題等を検証した上で、全戸委託或いは指定管理者制度等への移行の可能性を含め、今後の市営住宅管理のあり方を検討する。		
(単位:千円)	当初予算額	12,854	評価結果	
補正予算額	0	問題点や課題を検証し、今後の市営住宅のあり方を検討する。		
予算流・充用額	0			
最終予算額	12,854	【参考】		
本年度決算額	11,637	前年度決算額		
区分	決算額	11,017		
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	11,637		
	一般財源	0		
	計	11,637		

都070	項目名	東日本大震災支援対策費		
主要な施策	住宅維持補修費	ページ	39	所 属 名
年度	H24	都市整備部 建築住宅課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】住宅係 0857-20-3291 【9次総の施策体系】3301 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P229(都059)			
款	土木費	【事業の概要】 東日本大震災により、住宅を失った方、原子力発電所事故による避難指示により緊急に住宅からの避難を余儀なくされている方に臨時的に市営住宅を提供することにより、被災者の生活再建及び生活の安定向上を図る。		
項	住宅費	【事業の成果】 ①平成24年度 受入世帯数 7世帯		
目	住宅管理費	【今後の課題・方向性】 国・県の方針に従い、受入期間を2年間から3年間へと延長した。		
(単位:千円)	当初予算額	2,000	評価結果	
補正予算額	0	被災者の生活再建及び生活の安定を図る。		
予算流・充用額	0			
最終予算額	2,000	【参考】		
本年度決算額	1,158	前年度決算額		
区分	決算額	3,080		
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	1,158		
	計	1,158		

都071	項目名	住宅小規模リフォーム助成事業費	
主要な施策	民間住宅整備支援費	ページ	39
年度	H24	所 属 名	
		都市整備部 建築住宅課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】住宅係 0857-20-3291		
款 土木費	【9次総の施策体系】4204		
項 住宅費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P229(都060)		
目 住宅管理費	【事業の概要】 生活の基盤となる住環境の整備は、定住化促進のための重要な要素であるが、景気の低迷で住環境の整備は進んでいない状況にある。また、地域経済の低迷が続く中で、活性化に向けた取り組みが求められている。 そこで、市民が市内の施工業者を利用して、個人住宅のリフォームを行う場合に、その経費の一部を助成する。 ・市内の施工業者を利用すること ・工事費が20万以上のもの ・助成金の交付決定後に着手し、平成25年3月31日までに工事が完了するもの ・助成工事に係る経費の10%(上限20万円、千円未満の端数切捨て) ※ただし、次に該当する場合には上限を30万円とする。 ①満18歳未満の子どもを養育する世帯(子育て世帯) ②同一世帯に高齢者又は障がい者が居住している世帯		
(単位:千円)	【事業の成果】 住環境の向上と地域経済の活性化を図った。		
当初予算額	20,000	【今後の課題・方向性】 平成24年度～平成26年度の3カ年としているが、その後の取扱いについては、経済状況及び財政状況等を勘案して延長等を検討するものとする。	
修正予算額	0		
予算流・充用額	0		
最終予算額	20,000	【参考】	
本年度決算額	18,769	前年度決算額 0	
区分	決算額	評価結果	
財源内訳		居住環境の向上と地域経済の活性化を図る。	
国・県支出金	10,000		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	8,769		
計	18,769		
分担金	0		
負担金	0		
使用料	0		
手数料	0		
財産収入	0		
寄付金	0		
繰入金	0		
贈収金	0		
その他	0		

都072	項目名	賀露団地ストック総合改善事業工事費	
主要な施策	ストック総合改善事業費	ページ	39
年度	H24	所 属 名	
		都市整備部 建築住宅課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】住宅建設係 0857-20-3294		
款 土木費	【9次総の施策体系】4201		
項 住宅費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P230(都061)		
目 公営住宅建設費	【事業の概要】 賀露団地R棟の老朽化に伴いストック改善を行い、高齢者などの安全や利便にも配慮した住宅にリフォームする。また、国の緊急経済対策に呼応するためR6棟ストック改善事業を前倒し未執行のまま繰り越した。		
(単位:千円)	【事業の成果】 住環境の改善を図るとともに新規入居者への公営住宅の供給を増やした。		
当初予算額	246,263	【今後の課題・方向性】 H25年度にR6棟のストック改善を行い、R棟全体の改善が終了する。	
修正予算額	△43,975		
予算流・充用額	0		
最終予算額	202,288	【参考】	
本年度決算額	201,975	前年度決算額 206,275	
区分	決算額	評価結果	
財源内訳		老朽化対策に伴う平成20年度からのストック総合改善事業等により、住環境を改善し入居者の居住の安定を図る。	
国・県支出金	81,821		
地方債	119,800		
その他	0		
一般財源	354		
計	201,975		
分担金	0		
負担金	0		
使用料	0		
手数料	0		
財産収入	0		
寄付金	0		
繰入金	0		
贈収金	0		
その他	0		